

令和7年度 仕様書

工事名称 川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)

工事場所 川越市御成町1番ほか

【工事の大要】

川越地区消防局・川越北消防署新築に伴う植栽工事（その1）である。

・植栽工事 一式

本工事は、「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

工事種別内訳

2

川越地区消防局・川越北消防署 新築植栽工事（その1）

gL(1)		植栽工事（その1）図面リスト	
G01	特記仕様書	01	配置図
G02	発注区分表	02	植栽平面図(1)
G03	工事区分表	03	植栽平面図(2)
G04	敷地付近見取図・案内図	04	外構詳細図(法面)
G05	敷地求積図	05	外構詳細図(スロープ2)
G06	敷地現況図(外構着手時)	06	外構詳細図(スロープ3)
		07	外構詳細図(スロープ3階段・スロープ4)

2025年12月

* 安井建築設計事務所

川越地区消防局・川越北消防署
新築植栽工事（その1）

工事設計図

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所	埼玉県川越市御成町1番 ほか	
2. 敷地面積	20,874.99 m ²	
3. 工事種目	1. 工作物	1) 植込み土留 一式
	2. 造園	1) 樹木（芝張りとも） 一式

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房工務課部制定の下記仕様書等のうち、〇を付けるものを適用する。
 ○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 ○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
 ○建築物耐久工事共通仕様書（令和4年版）
 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。
 (3) 本特記仕様書の表記
 1) 项目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
 2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。〇印のみの場合は適用しない。
 〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 〇印と※印の付いた場合は、共に適用する。
 3) 特記事項に記載の（ 内容番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又是当該表を示す。
 4) [印]は、特定調達品目を示す。これらを調達する場合は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成2年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和3年2月19日変更開議決定）」に定める判断の基準等を満たすものとする。

項目 特記事項

1 共通事項	① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速 (V= 32 m/s) 地表面粗度区分 (· I · II · III · IV) ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(二+四)
	② 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、单板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（タル酸ジーノーブル及びタル酸ジーエチルヘキシル等を含むしない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	③ 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員の承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監査を行っておりのこと。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認証又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

4. 指定部分 *有 無 対象部分（ 指定部分工期 年 月 日 ）

5. 工事範囲

*3. 工事種目：すべてを工事範囲とする。
 ※3. 工事種目：のうちの工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

項目	
2 仮設工事	
3 土工事	○
4 地工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鋼骨工事	
8 サンリードロウ・ALCA・カル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及び土工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 ガーメントウォール工事	
18 衣装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 鋼鉄工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	○

4 室内空気中の化学物質の濃度測定

(1.5.9)
 (1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
 (2) 測定対象室及び測定箇所は仕上表による。
 (3) 測定は、バッソフ型採集機器により行う。
 (4) 測定方法及び測定結果の報告は、厚生労働省のガイドライン又は国土交通省が認める代替測定法により（許容濃度は25 ppmの場合とする）、報告書は3部提出すること。
 測定時期は着工時、完成引き渡しの1か月前、家具備品などの搬入前とする。
 施工条件については、下記及び標準仕様書による。
 ※工事は原則として8時~17時、週休2日とする。
 本工事は「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。
 実施は、川越地区消防組合週休2日制適用工事要領（建築工事）（令和6年11月1日施行）によるものとする。要領は、川越地区消防組合のホームページで確認のこと。
 ※建設機械は原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。
 ※本工事は川越地区消防組合ワーディレスポンス対象工事である。
 ※再生資源利用（促進）計画書（実施書）、工事登録証明書（「ゴブリス・プラス」で入力したことの證明）、施工計画作成（施工完了後）に遅延なく提出すること。
 ※一般財團法人日本建設情報総合センター工事実績情報システム「CORIANS」により、受注登録、竣工登録等を行い、登録内容確認書を提出すること。
 ※中間検査を実施する。原則回数は1回とする。

5 施工条件

(1.5.9)
 (1) 本工事は原則として8時~17時、週休2日とする。
 本工事は「週休2日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。
 実施は、川越地区消防組合週休2日制適用工事要領（建築工事）（令和6年11月1日施行）によるものとする。要領は、川越地区消防組合のホームページで確認のこと。
 ※建設機械は原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。
 ※本工事は川越地区消防組合ワーディレスポンス対象工事である。
 ※再生資源利用（促進）計画書（実施書）、工事登録証明書（「ゴブリス・プラス」で入力したことの證明）、施工計画作成（施工完了後）に遅延なく提出すること。
 ※一般財團法人日本建設情報総合センター工事実績情報システム「CORIANS」により、受注登録、竣工登録等を行い、登録内容確認書を提出すること。
 ※中間検査を実施する。原則回数は1回とする。

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房工務課部制定の下記仕様書等のうち、〇を付けるものを適用する。
 ○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 ○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
 ○建築物耐久工事共通仕様書（令和4年版）
 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。
 (3) 本特記仕様書の表記
 1) 项目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
 2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。〇印のみの場合は適用しない。
 〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 〇印と※印の付いた場合は、共に適用する。
 3) 特記事項に記載の（ 内容番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又是当該表を示す。
 4) [印]は、特定調達品目を示す。これらを調達する場合は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（平成2年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和3年2月19日変更開議決定）」に定める判断の基準等を満たすものとする。

項目 特記事項

1 共通事項	① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速 (V= 32 m/s) 地表面粗度区分 (· I · II · III · IV) ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(二+四)
	② 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、单板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（タル酸ジーノーブル及びタル酸ジーエチルヘキシル等を含むしない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	③ 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員の承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監査を行っておりのこと。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認証又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

4. 指定部分 *有 無 対象部分（ 指定部分工期 年 月 日 ）

5. 工事範囲

*3. 工事種目：すべてを工事範囲とする。

※3. 工事種目：のうちの工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

項目

2 仮設工事

3 土工事

4 地工事

5 鉄筋工事

6 コンクリート工事

7 鋼骨工事

8 サンリードロウ・ALCA・カル・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石工事

11 タイル工事

12 木工事

13 屋根及び土工事

14 金属工事

15 左官工事

主区分表（工区の大区分）

備考)

- ・本工事は特記ある場合を除いて「植栽工事（その1）」を対象とする。
- ・本区分は現時点のものであり、名称や区分が変わる可能性がある。

発注区分概要 【※工区以下工事区分は各工区図の工事区分による】

種別	工区		工事名称	工事						略号
	工区名称	略号		標準	他工区図に記載する工事名称		同左工期を記載する場合			
				表記を短縮する場合（1）						
建築 (給排水、空調、電気、昇降機、展示工事を含む)	庁舎棟	庁舎	川越地区消防局・川越北消防署新築工事	庁舎棟工事(建築)	庁舎建築工事					庁舎
			川越地区消防局・川越北消防署新築電気設備工事	庁舎棟工事(電気)	庁舎電気工事					
			川越地区消防局・川越北消防署新築太陽光発電設備工事	庁舎棟工事(太陽光)	庁舎太陽光工事					
			川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	庁舎棟工事(給排水)	庁舎給排水工事					
			川越地区消防局・川越北消防署新築空調設備工事	庁舎棟工事(空調)	庁舎空調工事					
	訓練塔	訓練	川越地区消防局・川越北消防署新築防災学習展示工事	庁舎棟工事(展示)	庁舎展示工事					訓練
			川越北消防署訓練塔新築工事	訓練塔工事(建築)	訓練建築工事					
			川越北消防署訓練塔新築電気設備工事	訓練塔工事(電気)	訓練電気工事					
	外構その他	外他	川越北消防署訓練塔新築給排水その他設備工事	訓練塔工事(給排水)	訓練給排水工事					外構
			川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その1、2）	外構その他工事(外構1、2)	外構工事	外構（1又は2）工事				
			川越地区消防局・川越北消防署構内舗装工事	外構その他工事(舗装)	外構舗装工事					
			川越地区消防局・川越北消防署新築外構電気設備工事（その1、2）	外構その他工事(電気1、2)	外構電気工事	外構電気（1又は2）工事				
			川越地区消防局・川越北消防署付属棟その他新築工事	外構その他工事(付属棟)	外構付属棟工事					
			川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事（その1、2）	外構その他工事(植栽1、2)	外構植栽工事	外構植栽（1又は2）工事				植栽
造成	造成	造成	川越地区消防局・川越北消防署造成工事（1期～3期）	造成工事（造成1～3）	造成工事	造成（1～3）工事				造成
			川越地区消防局・川越北消防署擁壁工事（1期～2期）	造成工事（擁壁1～2）	擁壁工事	造成擁壁（1～2）工事				
			川越地区消防局・川越北消防署雨水貯留槽設置工事	造成工事（貯留槽）	雨水貯留槽工事					
道路	外周道路	道路	川越地区消防局・川越北消防署外周道路整備工事	外周道路工事	外周道路工事					道路
			川越地区消防局・川越北消防署県道改修工事	県道改修工事	県道工事					
指令システム	指令システム	指令	川越地区消防局・川越北消防署指令システム工事	指令システム工事	指令工事					指令

発注区分表

<凡例> ○：適用する、 *：各区分の工事で必要な場合は適用する

工事種別			発注工区区分						備考			工事種別		
区分	工事内容	細目・備考	庁舎	訓練	外構その他	造成	指令	道路	備考	大区分	工事内容	細目・備考	発注工区区分	備考
仮設	直接仮設	仮囲い等（造成工事関連）				○				工作物	通信用鉄塔 (庁舎棟屋上設置)	鉄塔本体	○	
		仮囲い等（建築工事着手後）	○	*	*	*	*	*	○			避雷針	○	
		建築仮設（足場、内部）	○	○	○	○	○	○	○			通信アンテナおよびケーブル		○
		その他直接仮設	○	○	○	○	○	○	○		自家給油所	オイルタンク格納躯体及び防護壁	○	
	共通仮設	現場事務所（建築関連）	○	○	*	*	*	*	*			オイルタンク本体及び関連設備（注給油設備等）	○	
		その他共通仮設	○	○	○	○	○	○	○			オイルトレンチ	○	
インフラ 引込	仮設用		○	*	*	*	*	*	○		自家発用オイルタンク (地中埋設)	オイルタンク躯体	○	
	本設用		○									オイルタンク本体及び関連設備（注油設備等）	○	
	道水路	敷地外道路整備							○付替えを含む			オイルトレンチ	○	
		敷地外水路整備							○付替えを含む		外構	外構フェンス及び門扉類	○	
												サイン本体	○	
造成	表土改良					○				外構	サインへの配管配線	サインへの配管配線	○	
	圧密沈下対策					○			余盛土撤去を含む			整地（粗造成完了後の整地）	○	
	粗造成					○						雨水排水	○	
	擁壁（敷地外周部）			○		○			仮設搬出入口			縁石	○	
	雨水貯留槽（地中埋設）	雨水貯留槽				○						スロープ及び階段	○	
		排水ポンプ及びポンプ室		○								舗装（路床改良を含む）	○	
		放流先への接続				○						植栽	○	植栽基盤整備を含む
建築	庁舎棟	庁舎本体	○								電気	外構照明	○	
		指令システム										機械	○	
	保管庫	保管庫本体	○								車いす駐車場	散水栓		
		泡消火配管用トレンチ	○											
	訓練塔（A、B、C塔）		○								駐輪場（来庁者、職員） バイク置場（来庁者、職員）			
	その他付属棟	消防用自動車車庫												
		車いす駐車場												
		駐輪場（来庁者、職員）												
		バイク置場（来庁者、職員）												

凡例

...今回工事範囲

川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事（その1）	
gL(1)	
G02	発注区分表
	安井建築設計事務所

工事区分表

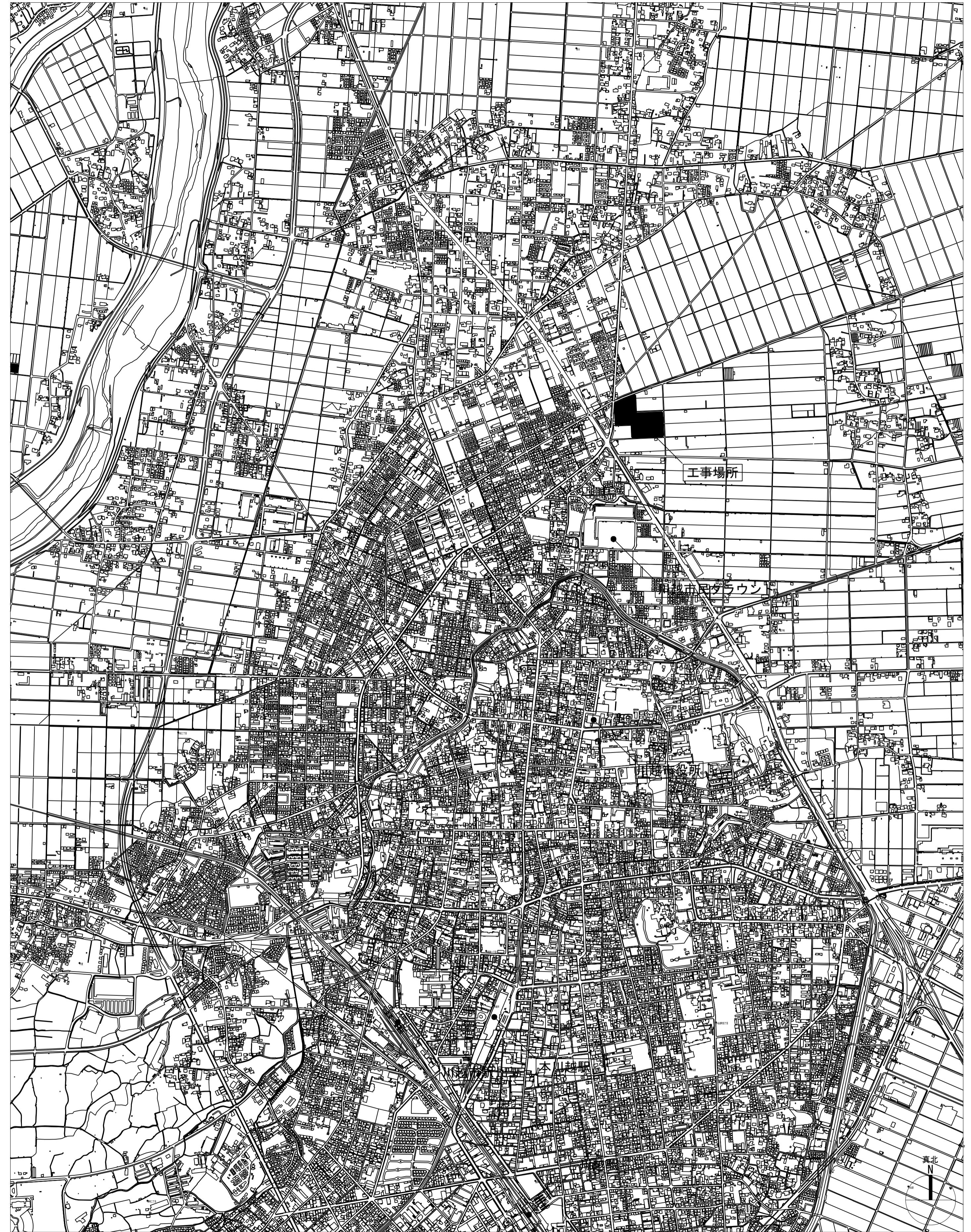
項目	gA	gH	gFA	gL	gE	別途	備考	項目	gA	gH	gFA	gL	gE	別途	備考	項目	gA	gH	gFA	gL	gE	別途	備考		
躯体関係																									
1. R.C造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○						5. その他(続き)	オイルサービスタンクの防油堤							11. その他	2重ピット及びトレチのマンホールふた							電気配線配管	
	補強を要する型枠材及び取付け	○							フリーアクセスフロア内の防水堤								機器搬入用フック ビーム							機器付属の制御盤以降の2次側配管配線(接地線共)	
	補強を要しない型枠材及び取付け	○							既設埋設配管配線調査(X線探査含む)								EV用フック含む							機器付属の制御盤への1次側電源供給配管配線(接地線共)	
	貫通孔・開口部の墨出し	○																チェーンブロック							自動制御と動力盤との電源用の渡り配管配線(接地線共)
	貫通孔・開口部の補強	○																化粧マンホール上ふたの表面仕上げ							機器と付属操作スイッチの渡り配管配線
	スリーブ・型枠の穴埋め	○																点検口(天井・床下)							煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー・防火防煙ダンパーに至る配管配線
2. S、SRC造の hari貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○																排煙口等の天井仕上材							注油口内アース端子よりのアース用配管配線
	使用されたスリーブの穴埋め	○																消火器B.O.X設置工事	○						ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線
	予備スリーブの穴埋め																	誘導標識(誘導灯を除く)							ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線
3. 設備機器の基礎	屋内の基礎(建築設計図に記入あるもの)																	煙突底部排水水目皿・排水管							機器・電極棒用の電源配管配線
	屋外・屋上の基礎																	くつまきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物(目皿共)・排水管							屋内消火栓ボンプ制御盤から消火栓ボンプ始動装置の電源、信号線の配管・配線
4. 昇降機関連	昇降路の躯体																	くつ洗い流し部排水金物・排水管							車いす駐車場配管
	機械室の躯体																	ルーフドレン	○						車いす駐車場配線
	機械室の床開口																	雨水流入配管	○						車いす駐車場照明器具
	機械室の床配管ビット・蓋																	雨水利用設備集水管	○						サイン工事の一次電源
	機械室の上部床コンクリート打設・仕上																	電動遮断弁以降はgA							
	卷上機周囲のチェックカーブレート敷																	屋上緑化							
	昇降路内ビット防水・集水樹																	雨水貯留槽ポンプ	○						
	点検用タラップ																								
	各階出入穴あけ・同補強																								
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修																								
	出入口扉、三方枠及び幕板																								
	出入口扉、三方枠及び幕板の各補強鉄骨																								
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の受け																								
	昇降路の中間ビーム、プラケット、レールプラケット支持柱他昇降路内の鋼製部材一式																								
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びプラケット受けビース																								
	機械室内大梁又は昇降路内にフックの取付(フックを含む)																								
	ホール押昇・インジケータ・鋼索などの壁開口																								
	点検用コンセント・煙感知器																								
	E.V制御盤への動力・照明用電源、アース、防災信号、拡声設備(館内放送用)の配管・配線工事																								
	E.V制御盤から、E.V内監視カメラまでの配管・配線工事																								
	E.V制御盤から、監視カメラ用の監視装置までの配管・配線工事																								
	E.V制御盤又はE.V監視盤までの保守遠隔監視用(電話回線)及び緊急地震速報受信用の配管工事																								
	E.V制御盤又はE.V監視盤までの緊急地震速報受信用の配管工事																								
	E.V制御盤から専用インターホンまでの配管・配線工事																								
	E.V制御盤からE.V監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事																								
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事																								
5. その他	トラフ・ビット類(ふたを含む)																								
	湧水・汚水ビット・RC造各種水槽																								
	同上用防水・マンホール・タラップ等																								
	避雷設備・同接地工事																								
	A.L.C板の壁開口・補強																								
	厨房排水溝																								
	厨房グリース阻集器																								

凡例
gA : 外構整備工事
gH : 構内舗装工事
gE : 電気設備工事
gFA : 付属棟その他工事
gL : 舗装工事
別途 : 別途工事

この工事区分表は、外構整備工事(gA)、構内舗装工事(gH)、電気設備工事(gE)、付属棟その他工事(gFA)、舗装工事(gL)といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。

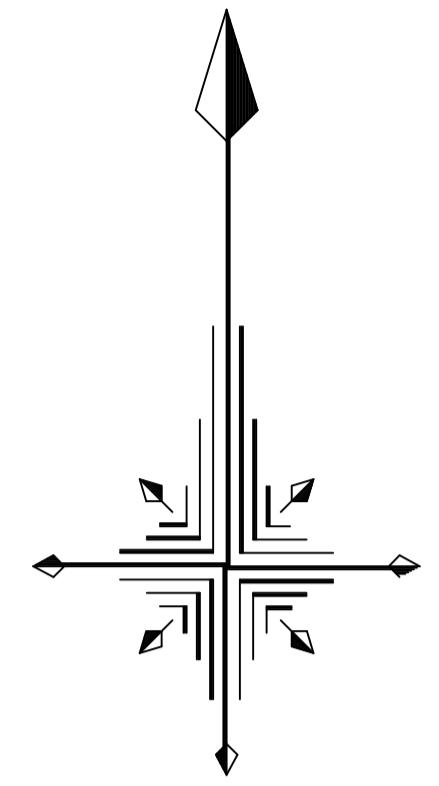
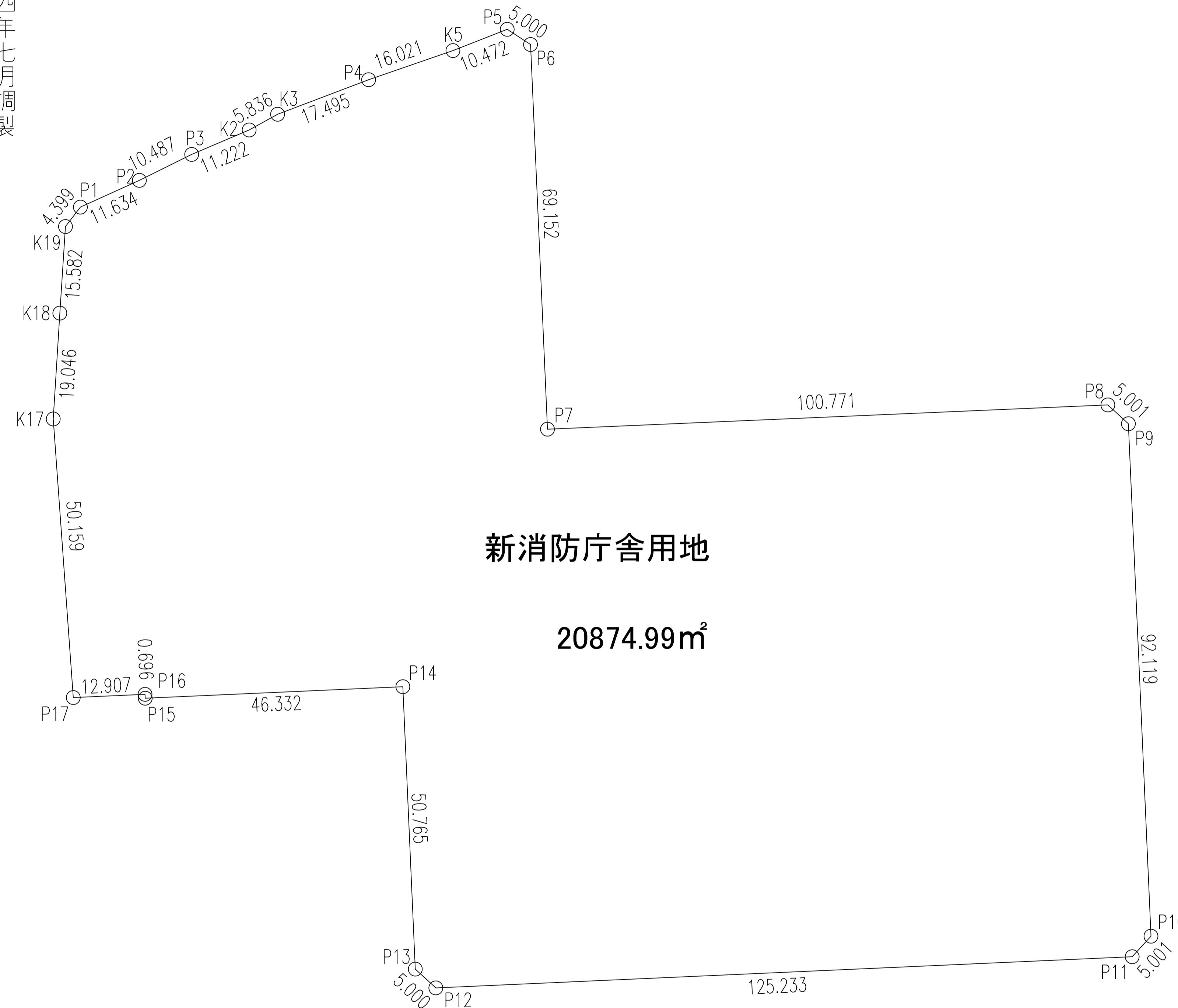
川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)
gl(1) A1=
G03 A3=

工事区分表
安井建築設計事務所



川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)
gL(1)
G04
敷地付近見取り図・案内図
安井建築設計事務所

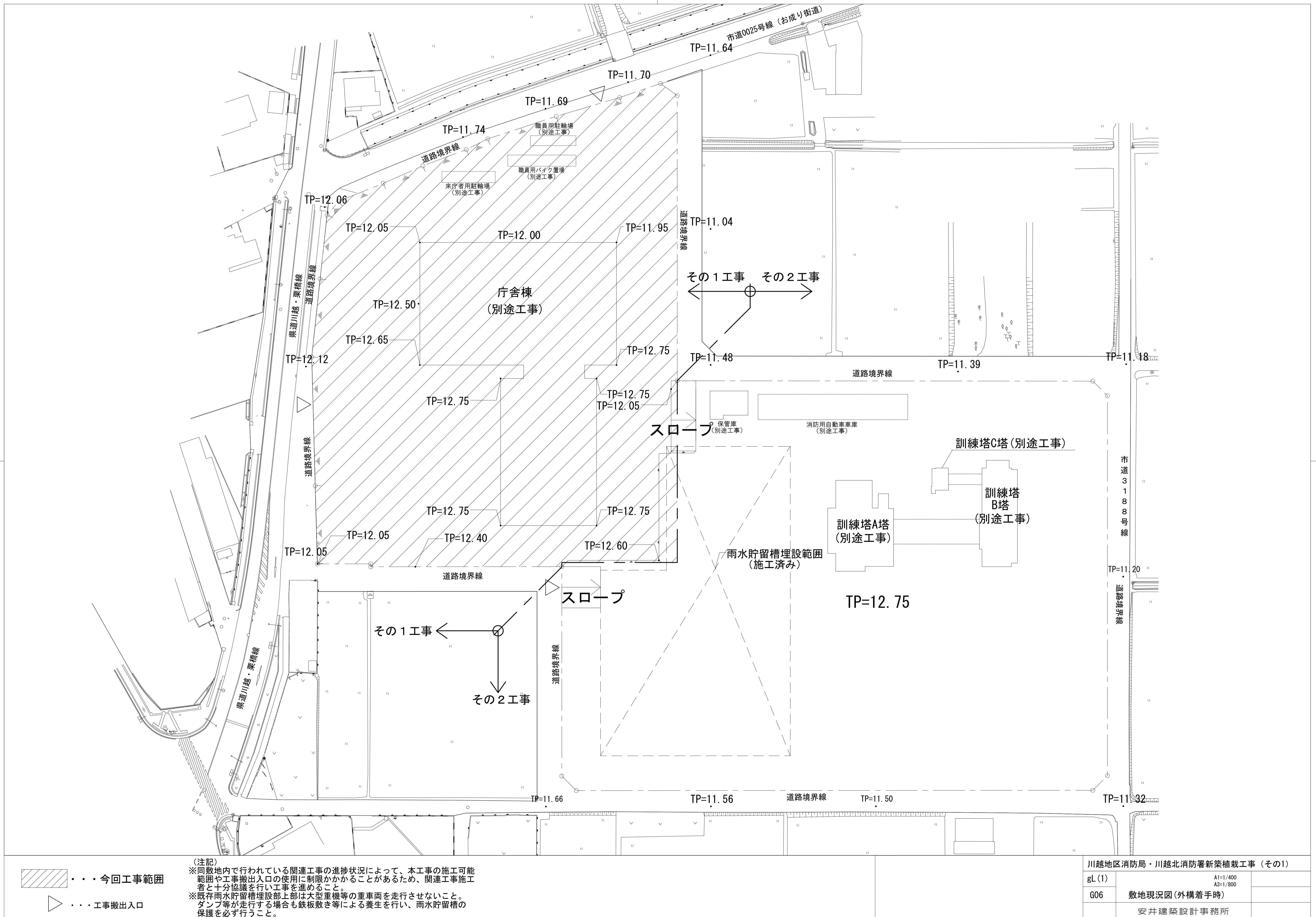
令和四年七月調製

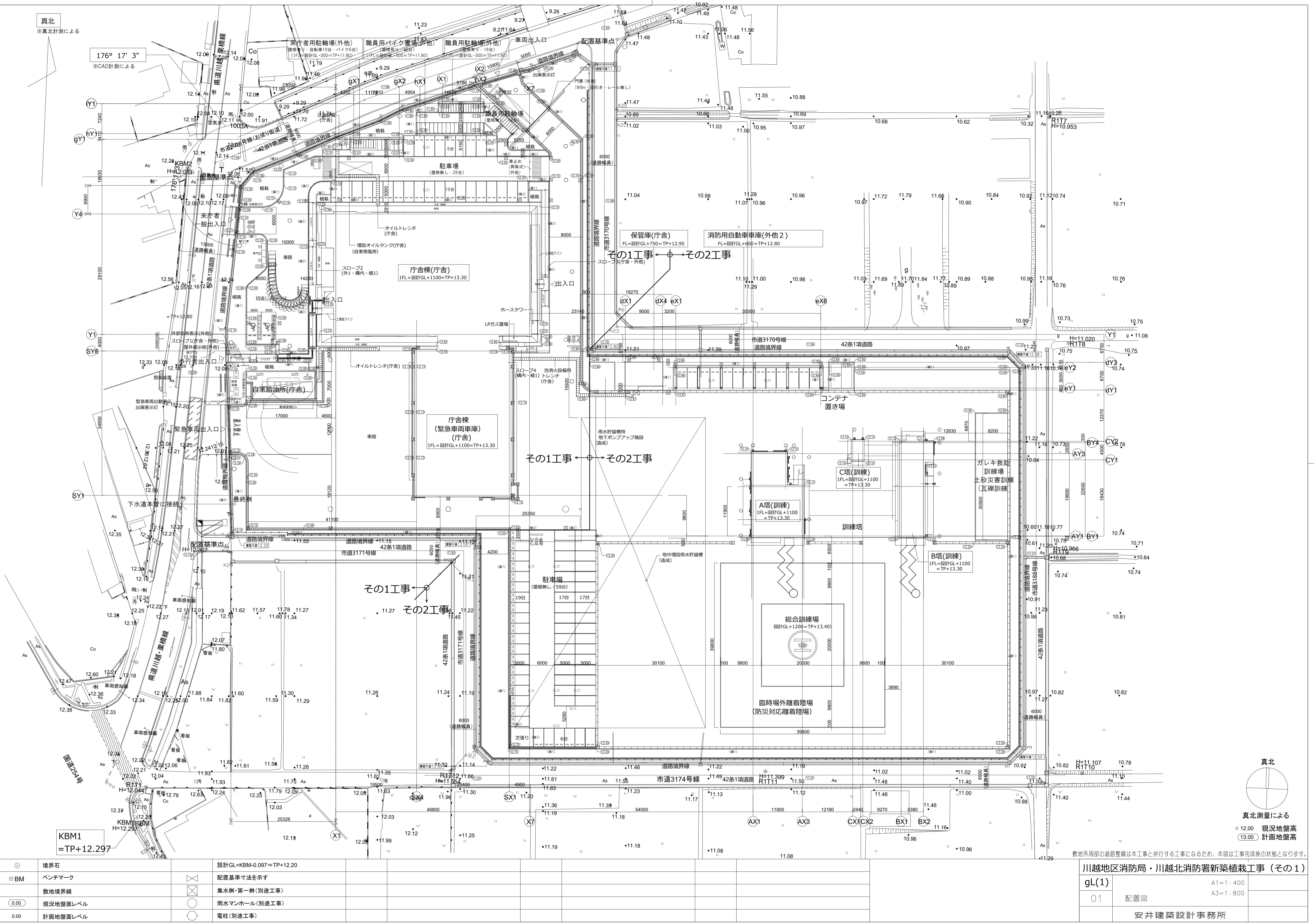


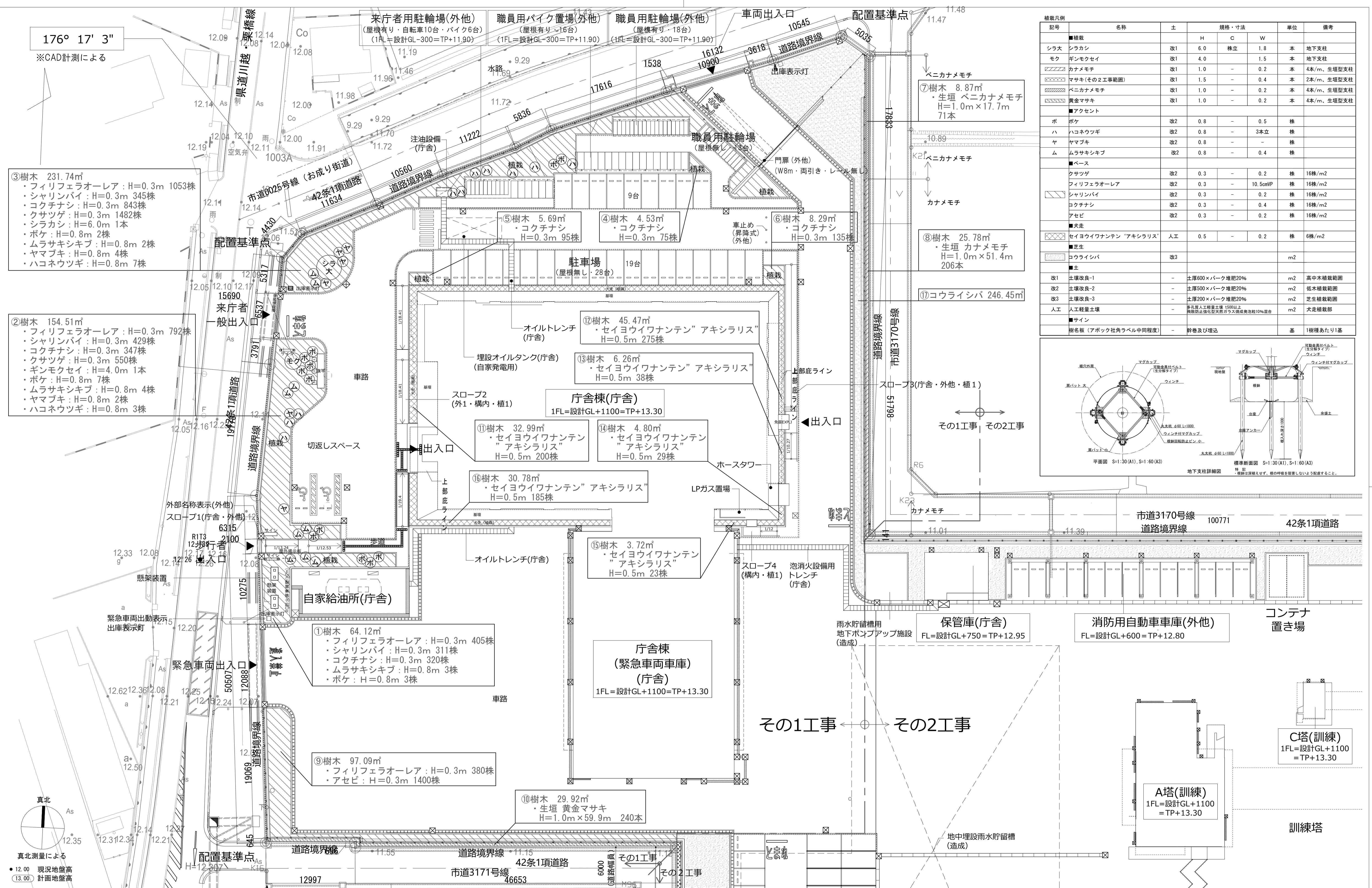
地番	新消防庁舎用地				
	NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距離
P1	-6987.685	-31270.075	-92775.493745	11.634	
P2	-6982.880	-31259.479	-139608.719840	10.487	
P3	-6978.224	-31250.082	-137638.490176	11.222	
K2	-6973.831	-31239.755	-107641.081485	5.836	
K3	-6971.007	-31234.647	-149646.607269	17.495	
P4	-6964.803	-31218.288	-219412.188909	16.021	
K5	-6959.573	-31203.144	-173265.529408	10.472	
P5	-6955.756	-31193.392	-96984.105908	5.000	
P6	-6958.483	-31189.201	-50365.499954	69.152	
P7	-7027.568	-31186.154	-728927.463232	100.771	
P8	-7023.212	-31085.477	-732970.497168	5.001	
P9	-7026.591	-31081.790	-54427.973886	92.119	
P10	-7118.621	-31077.731	-4862.018143	5.001	
P11	-7122.311	-31081.107	915103.006524	125.233	
P12	-7127.905	-31206.215	918059.908190	5.000	
P13	-7124.530	-31209.905	42219.964780	50.765	
P14	-7073.814	-31212.141	343235.602908	46.332	
P15	-7075.883	-31258.427	327747.824677	0.696	
P16	-7075.187	-31258.460	91468.017536	12.907	
P17	-7075.763	-31271.355	116693.483396	50.159	
K17	-7025.733	-31274.952	16939.042263	19.046	
K18	-7006.723	-31273.766	-15386.763708	15.582	
K19	-6991.173	-31272.756	-25804.419543	4.399	
合計				41749.997900	
合計面積				20874.998950	
地積				20874.99 m ²	

川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)
川越地区消防局新消防庁舎建設準備室より受領(2022年8月4日)
求積図 線尺1:500
測量業務委託(その3)
川越地区消防局・川越北消防署新庁舎建設予定地 测量業務委託(その3)
求積図 線尺1:500
司測量設計調査株式会社作成、令和四年七月調整

gL(1)	A1=1:500
G05	A3=1:1000
敷地求積図	
安井建築設計事務所	



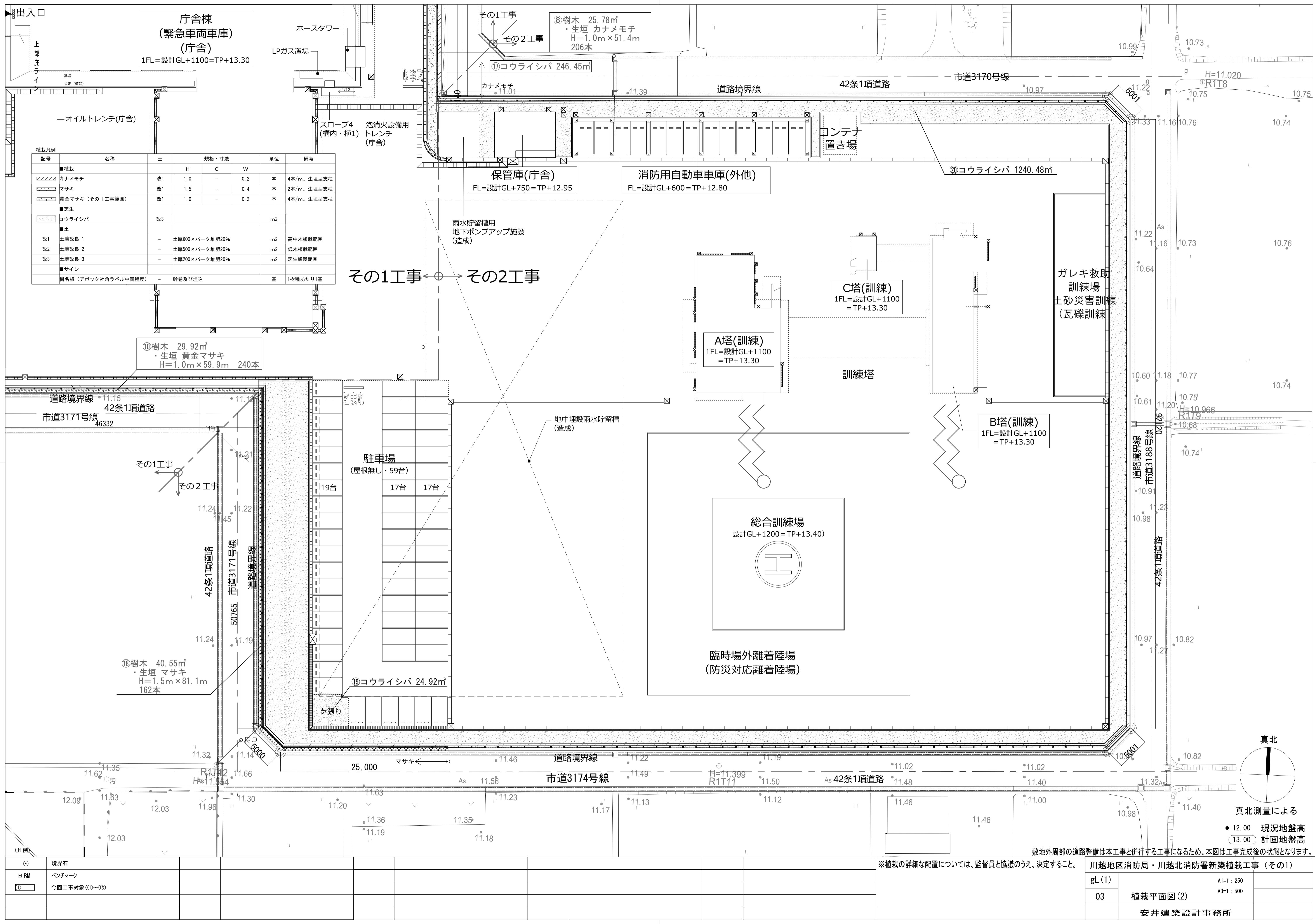


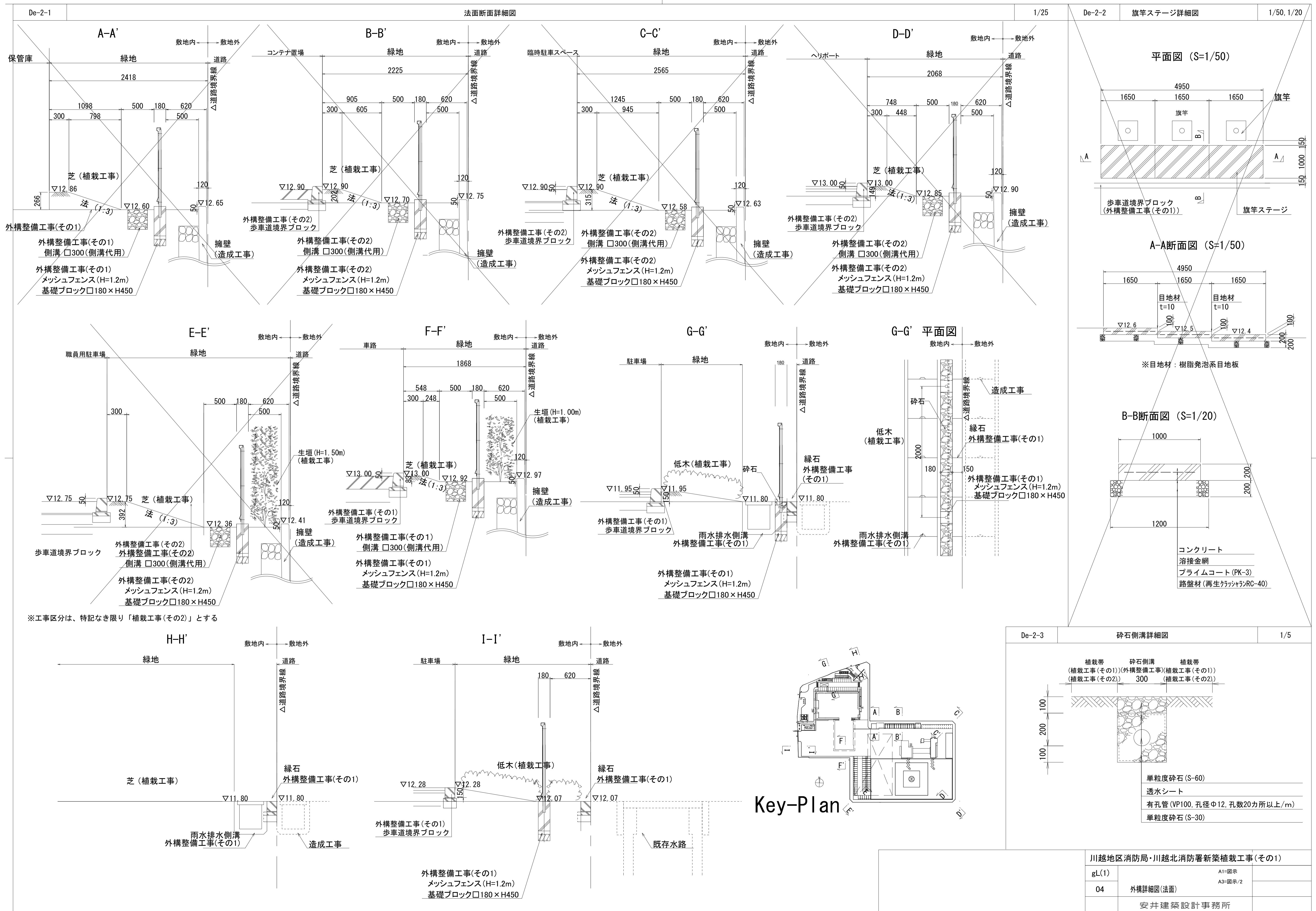


○	境界石							
□ BM	ベンチマーク							
①	今回工事対象(①~⑦)							

※植栽の詳細な配置については、監督員と協議のうえ、決定すること。

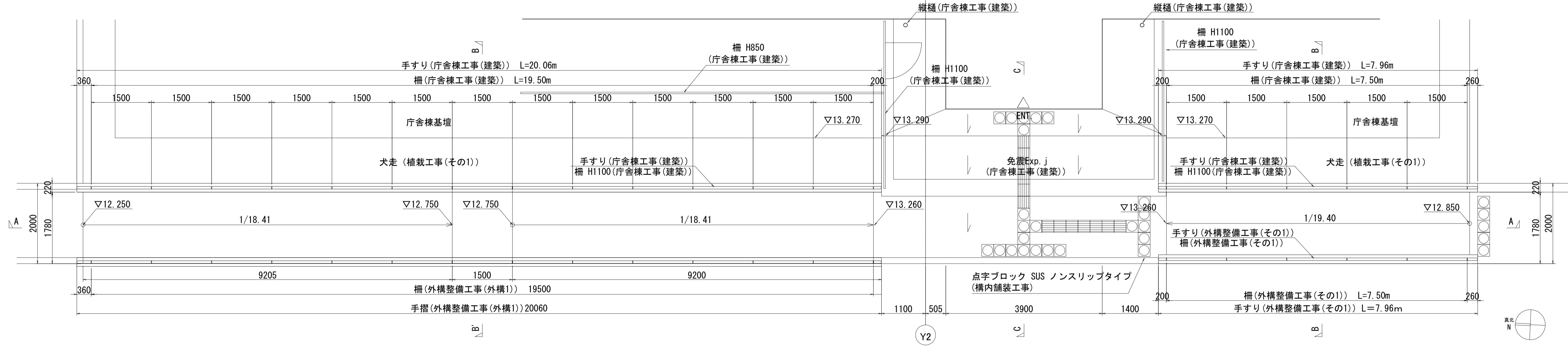
川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事 (その1)
gL(1) A1=1 : 250
02 植栽平面図(1) A3=1 : 500
安井建築設計事務所



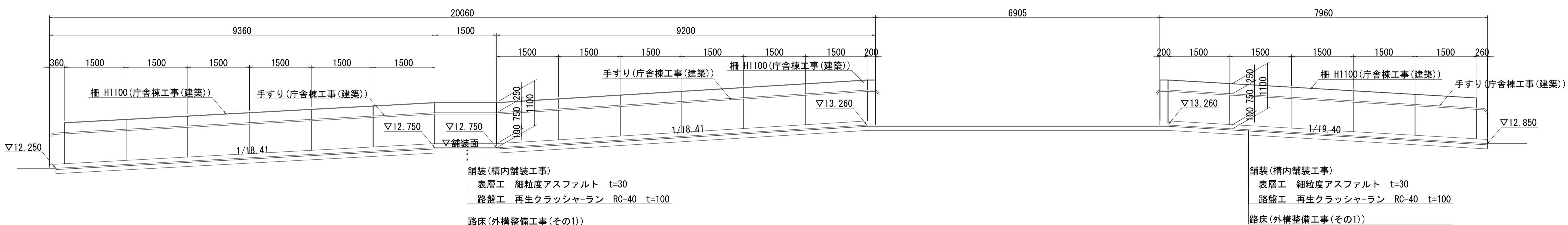


スロープ2詳細図

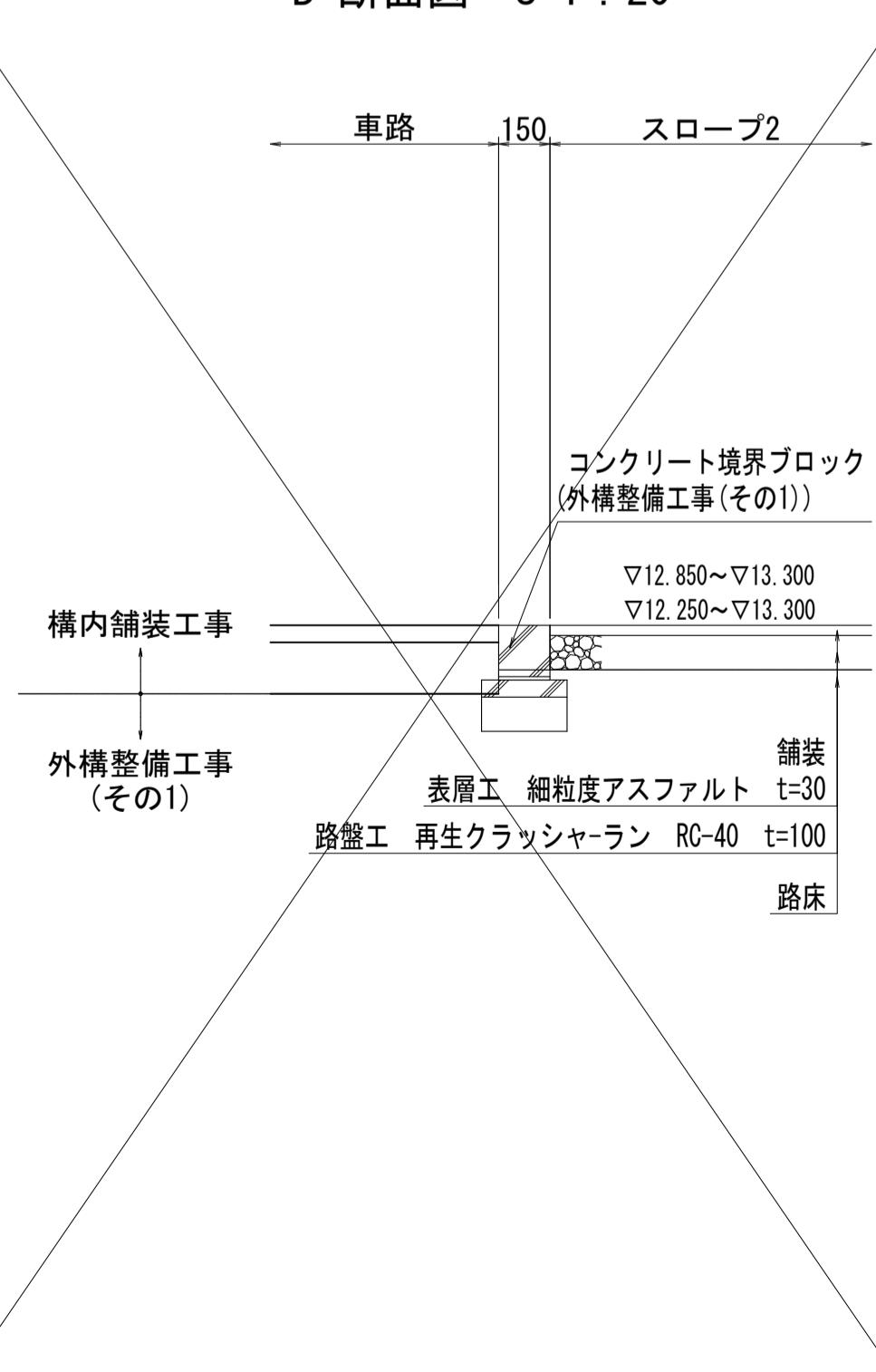
平面図 S=1 : 50



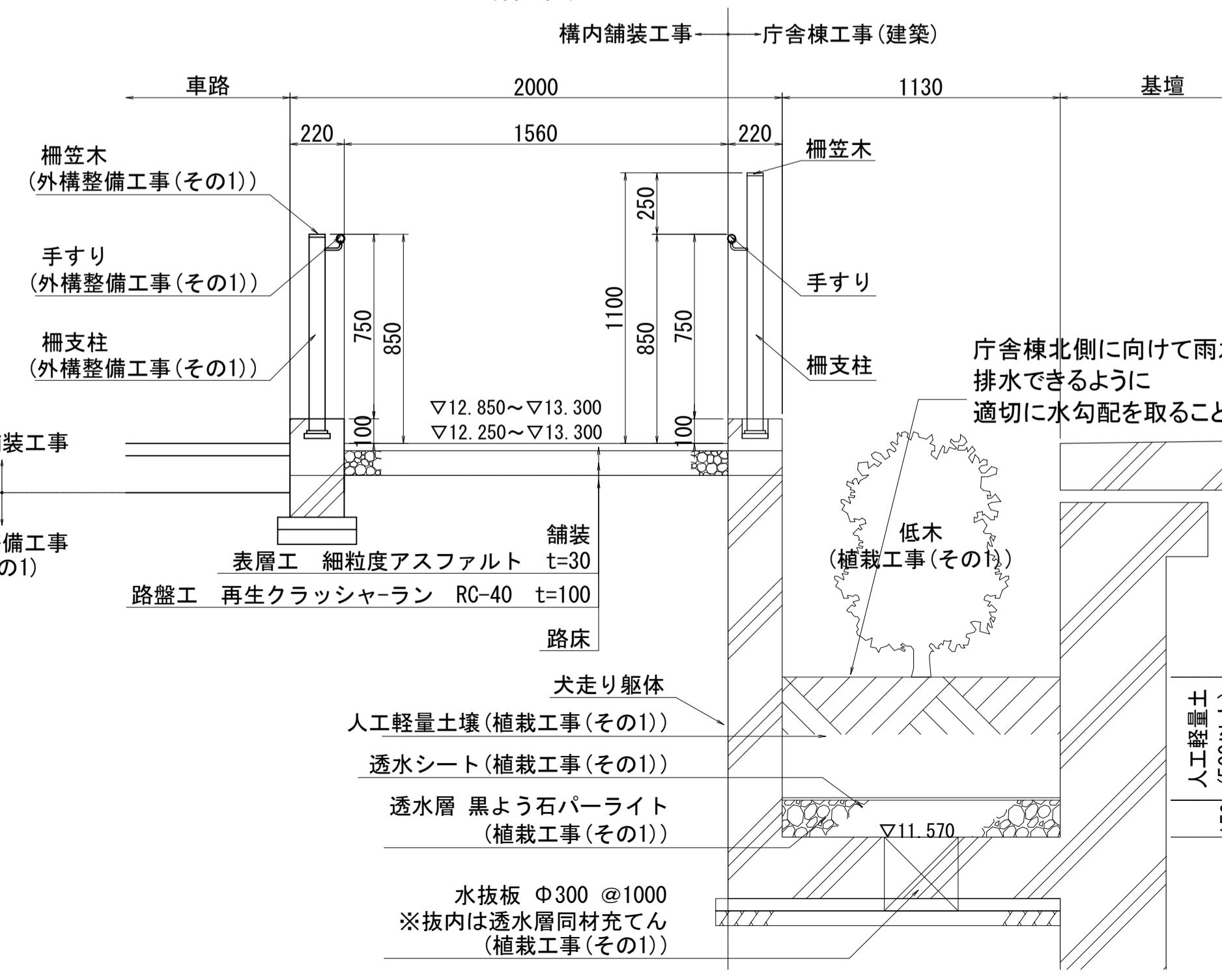
A-A断面図 S=1 : 50



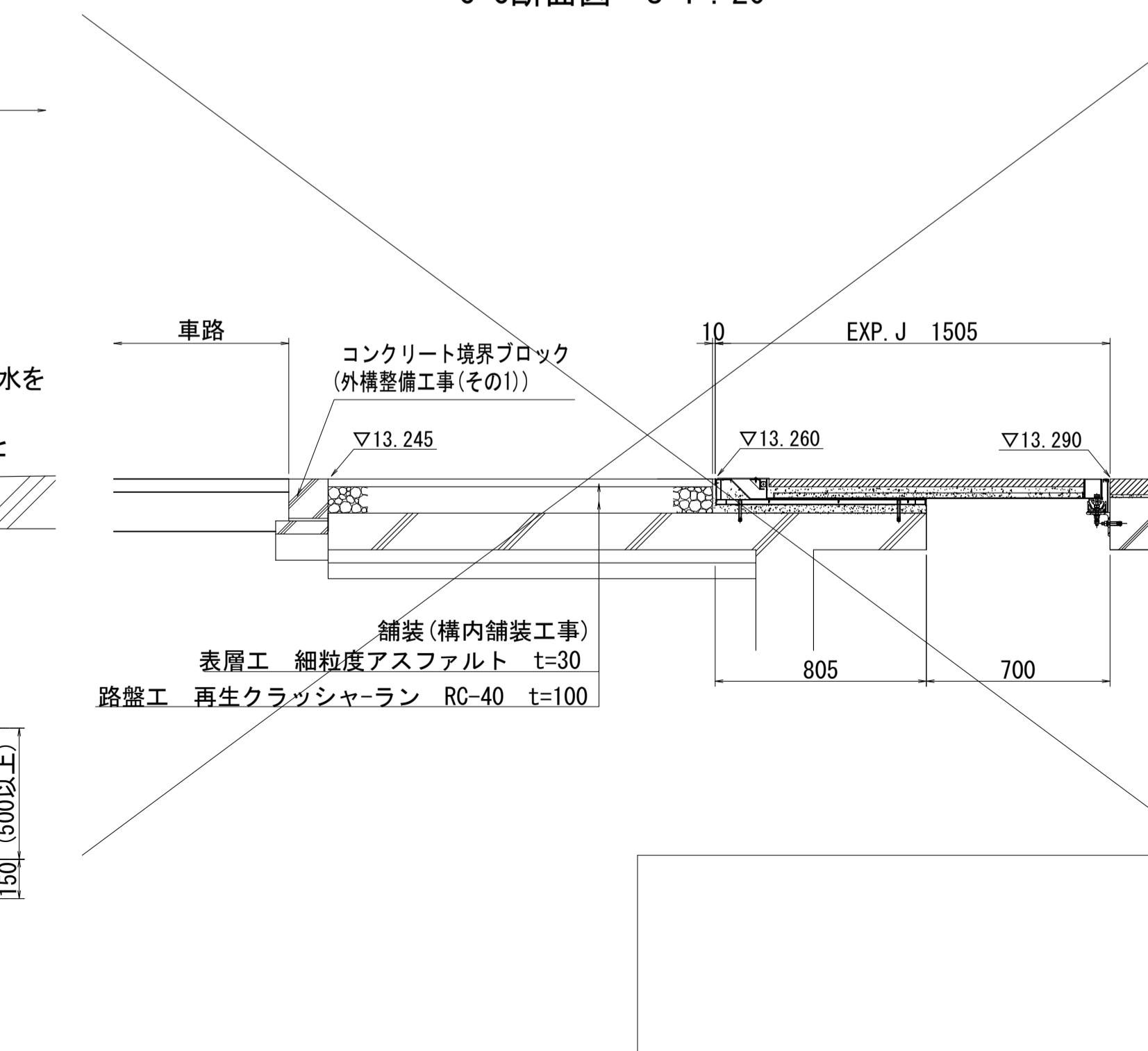
B' 断面図 S=1 : 20



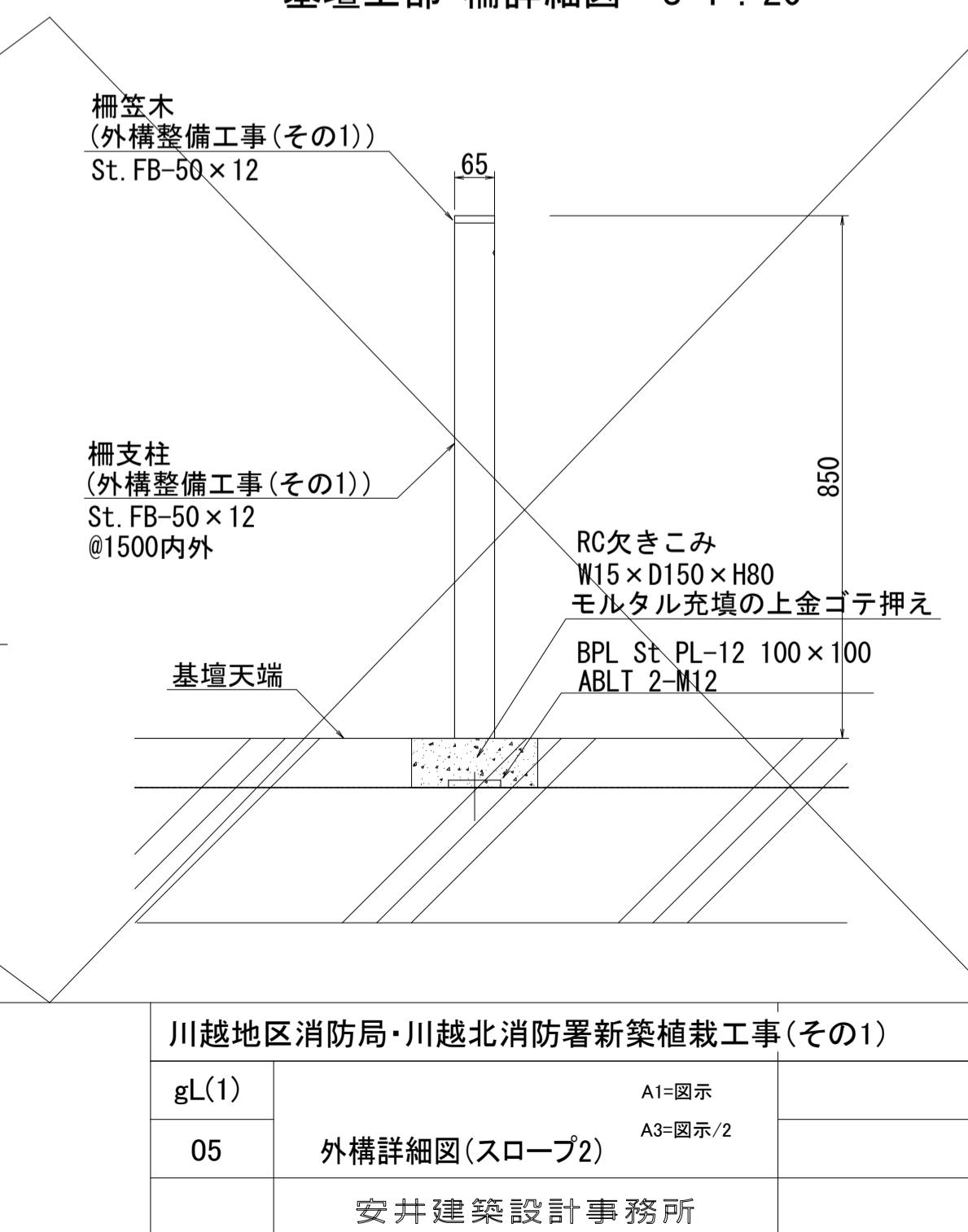
B-B断面図 S=1 : 20



C-C断面図 S=1 : 20



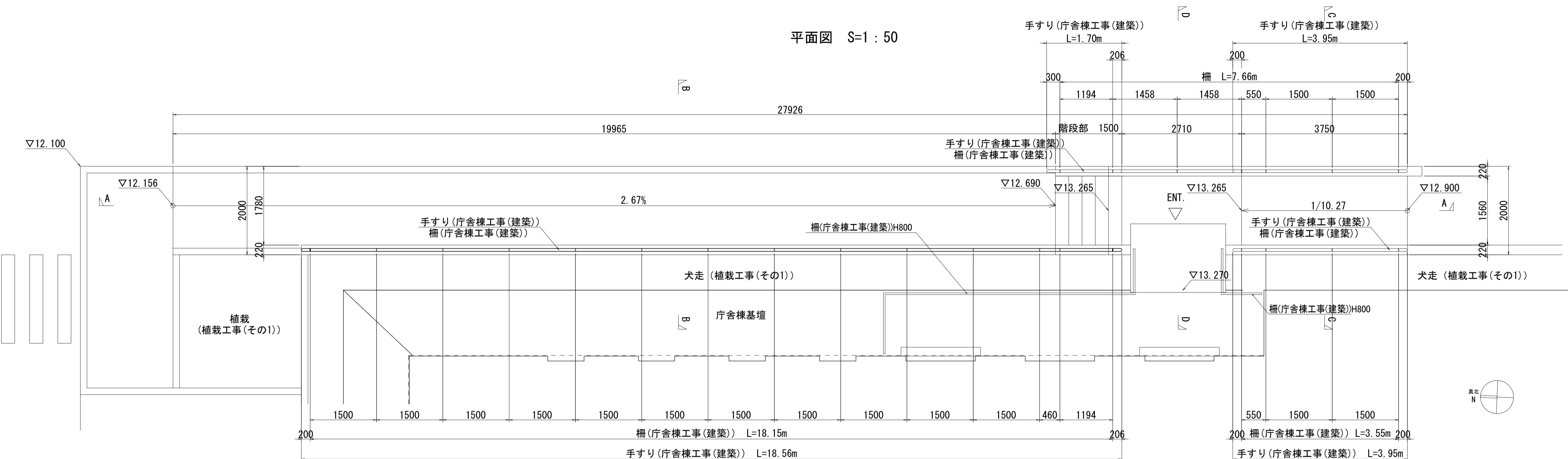
基壇上部 柵詳細図 S=1 : 20



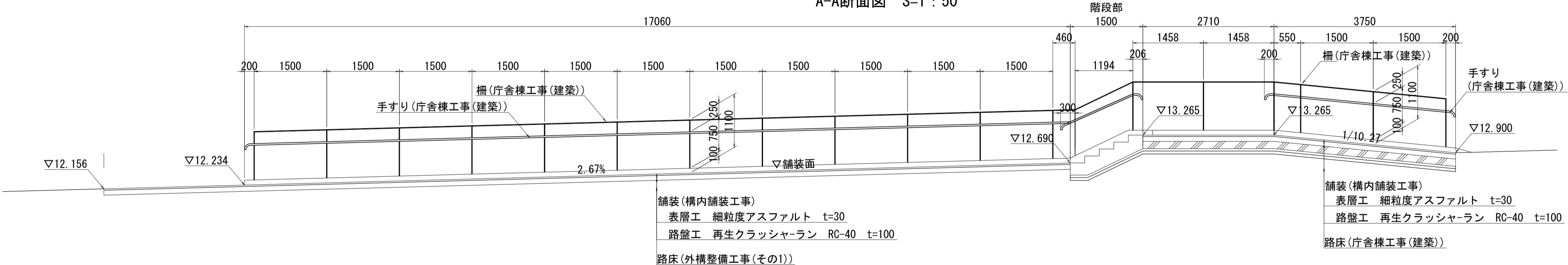
川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事 (その1)	
gL(1)	A1=図示
05	A3=図示/2 外構詳細図(スロープ2)
	安井建築設計事務所

スロープ3詳細図

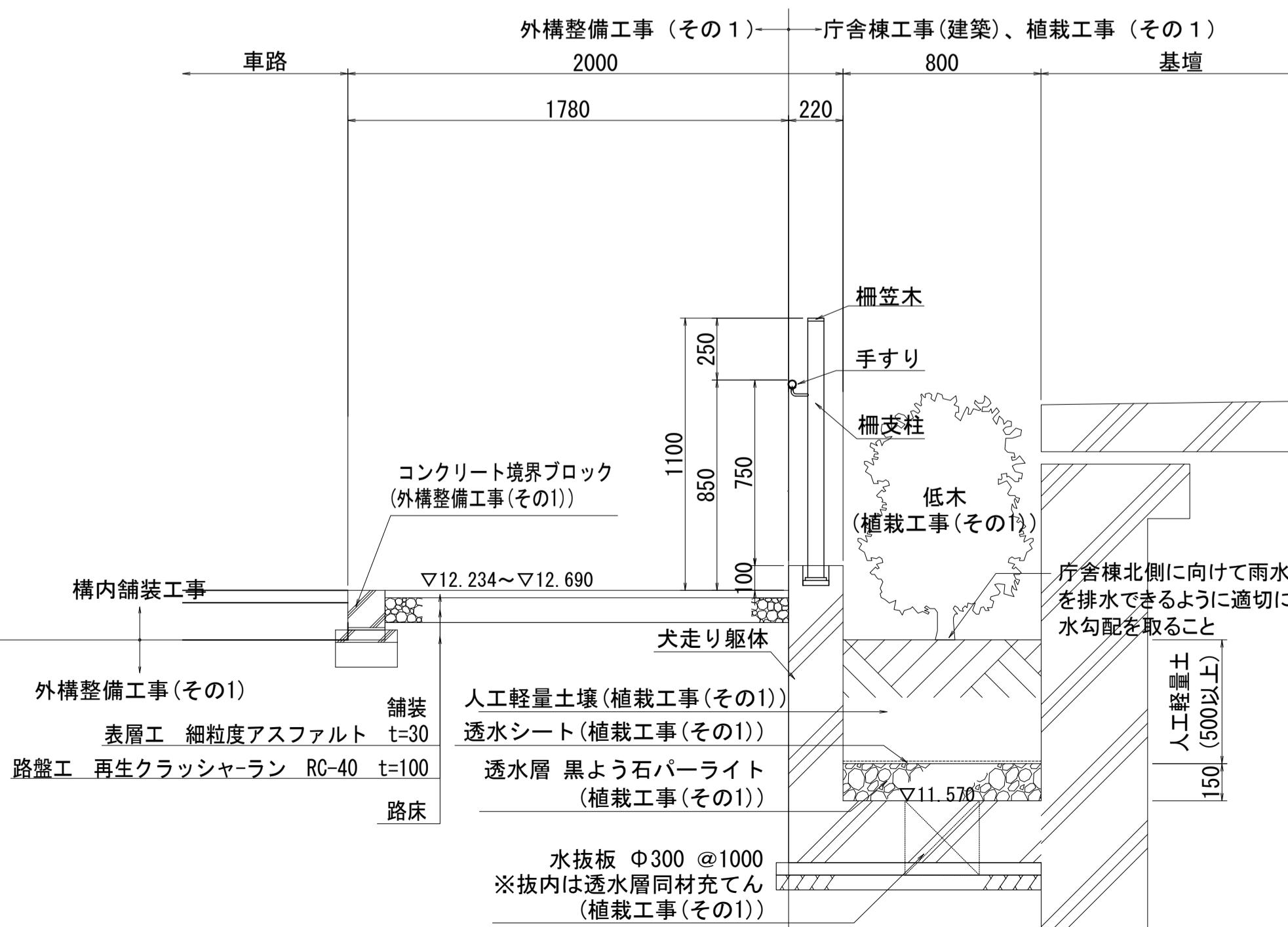
平面図 S=1 : 50



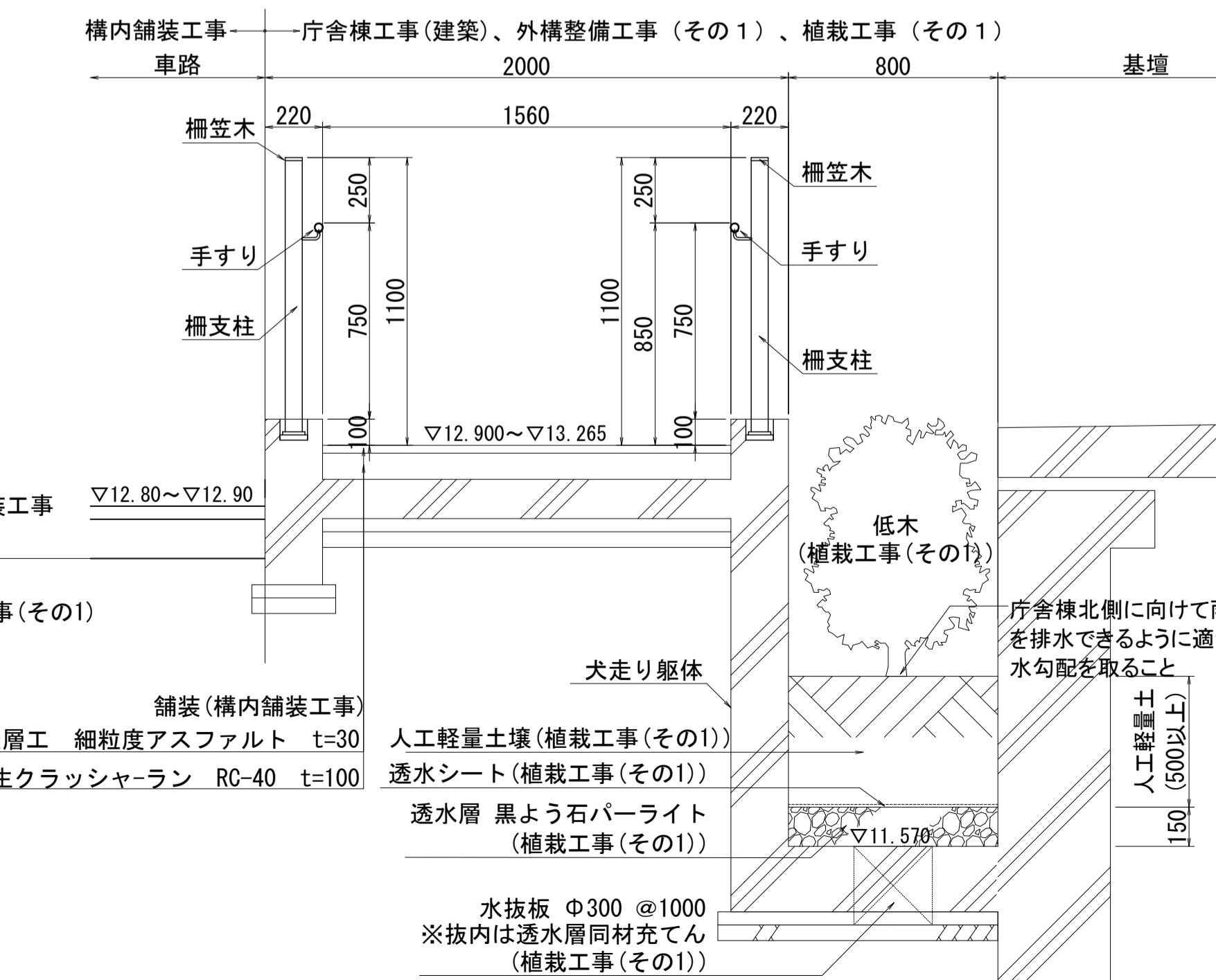
A-A断面図 S=1 : 50



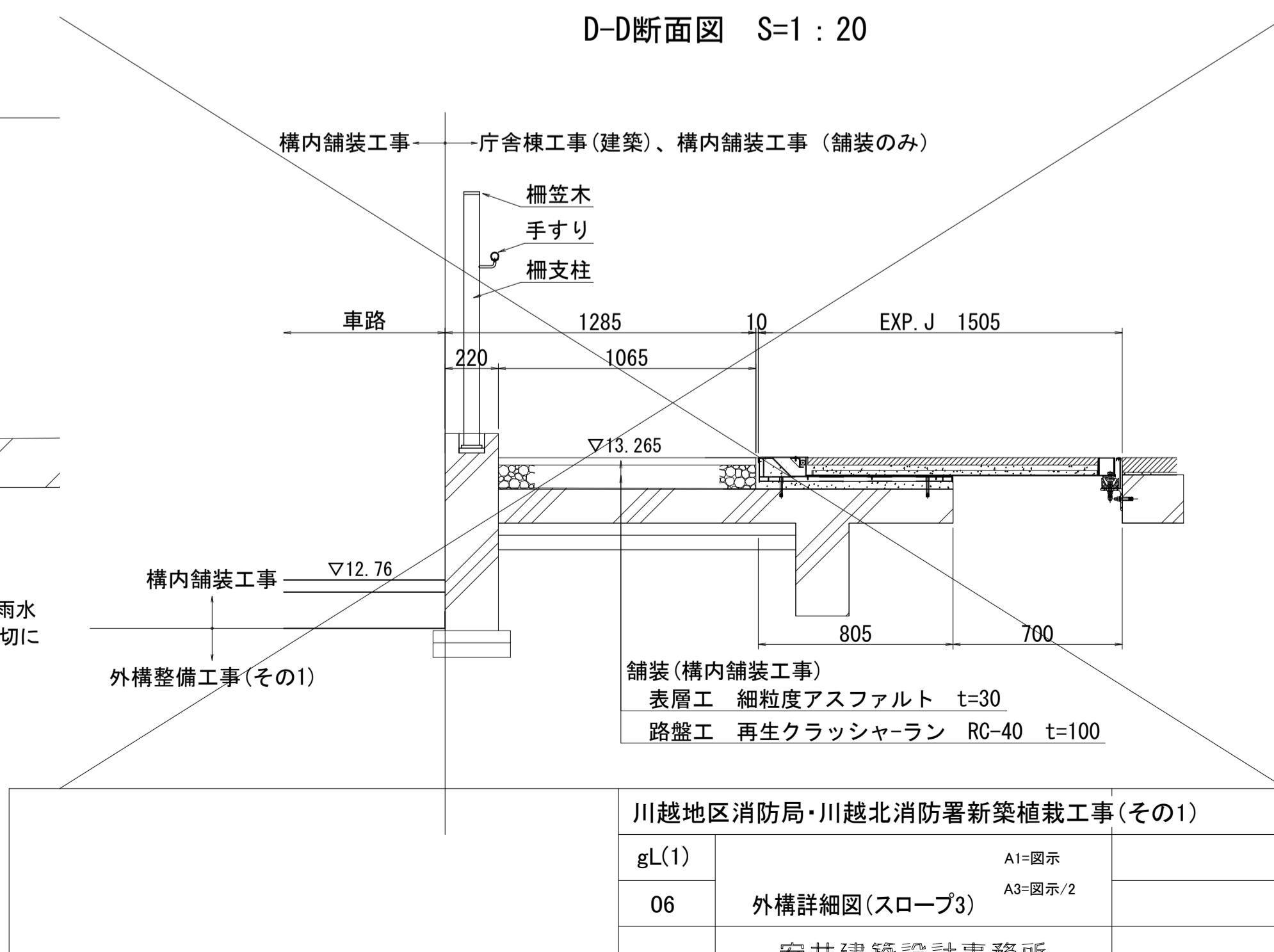
B-B断面図 S=1 : 2



C-C断面図 S=1 : 20

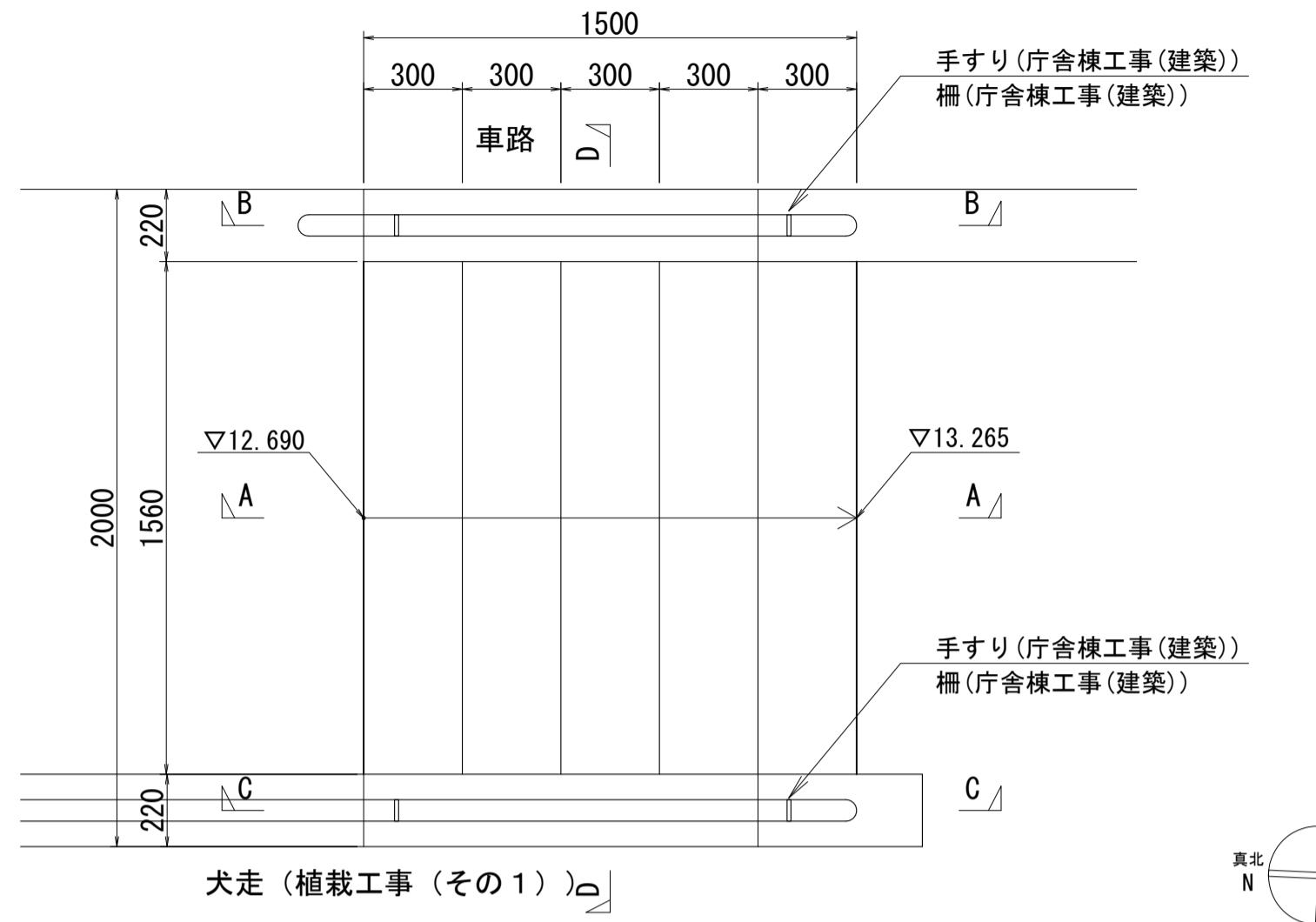


D-D断面図 S=1 : 20

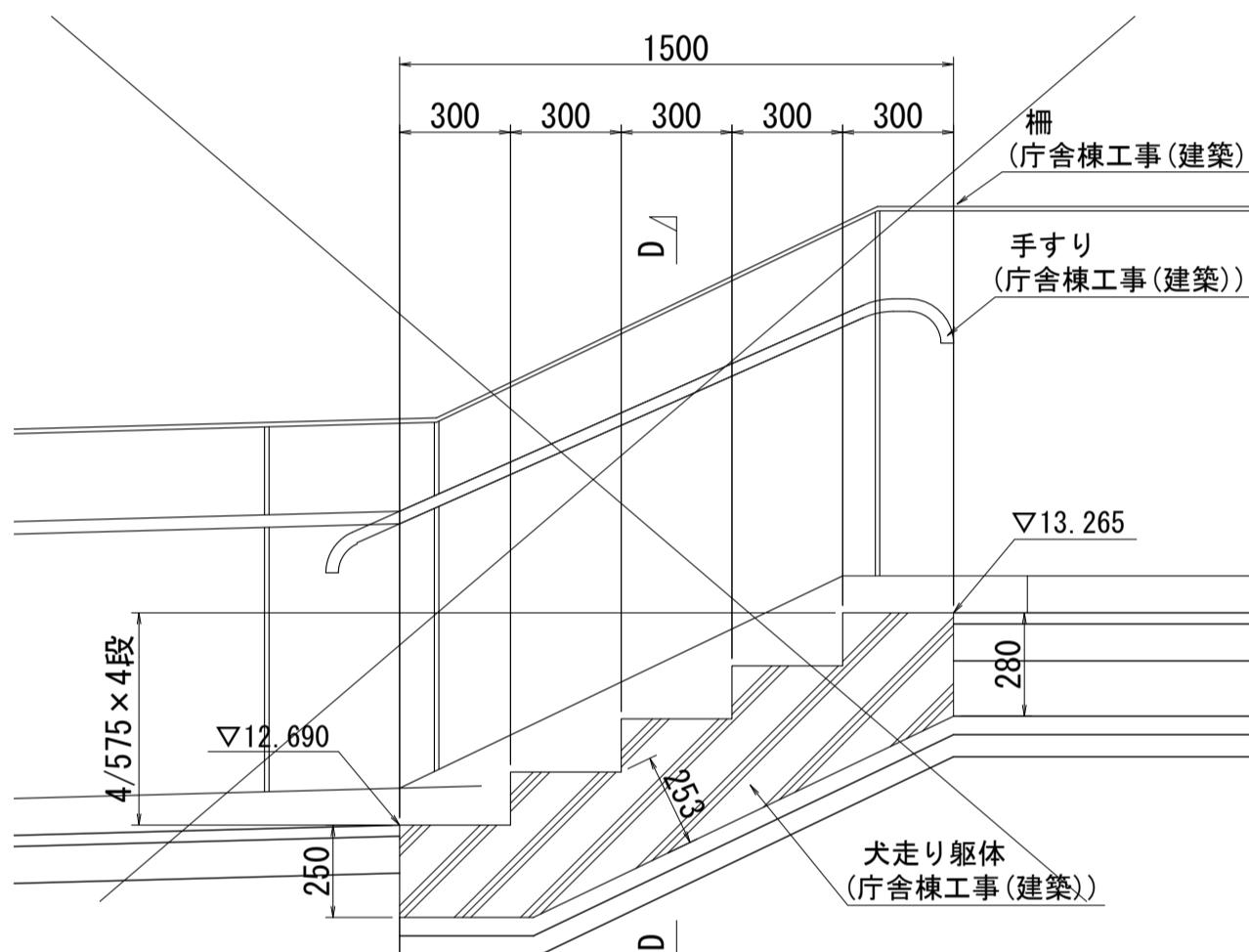


スロープ3 階段詳細図

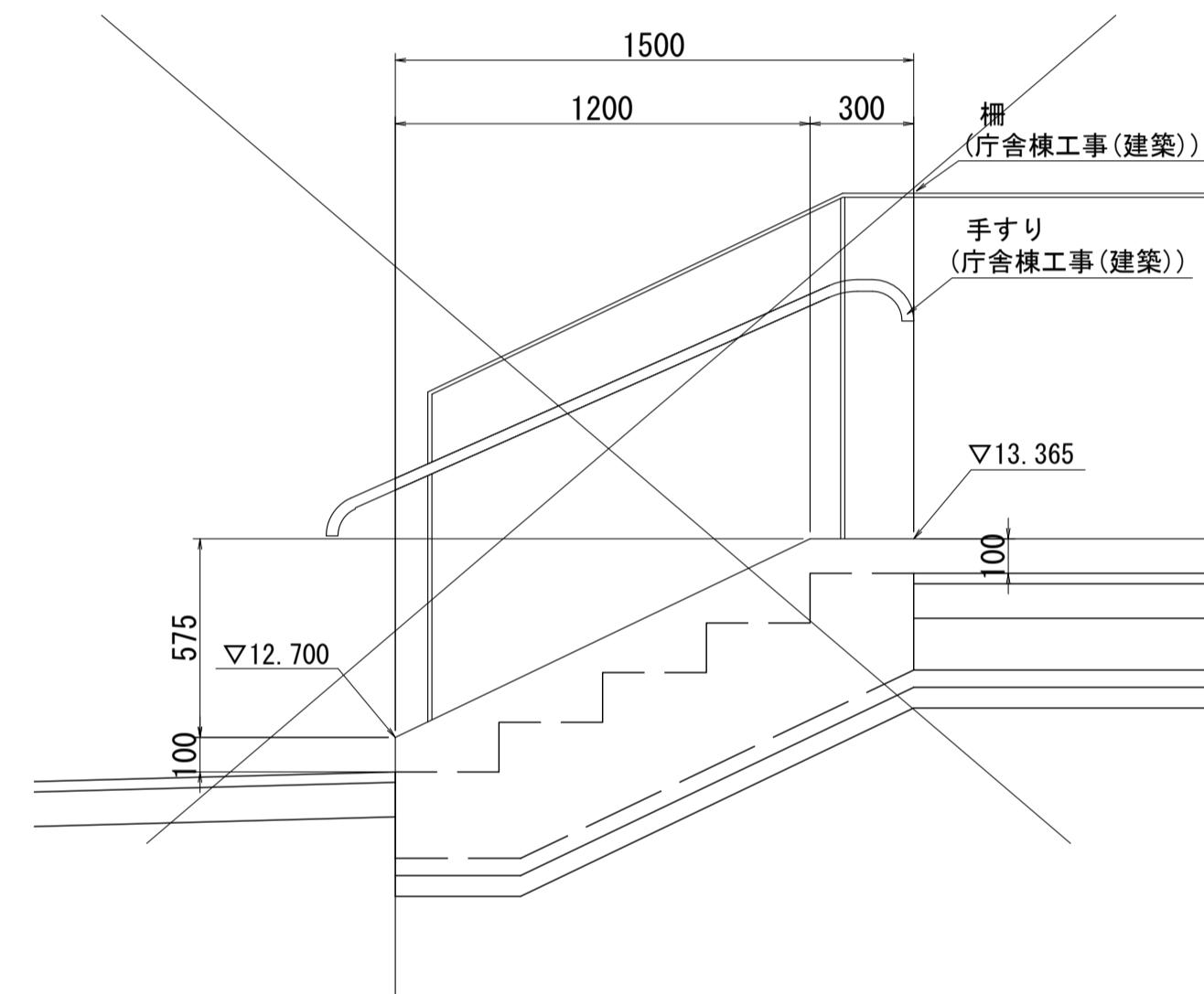
平面図 S=1 : 20



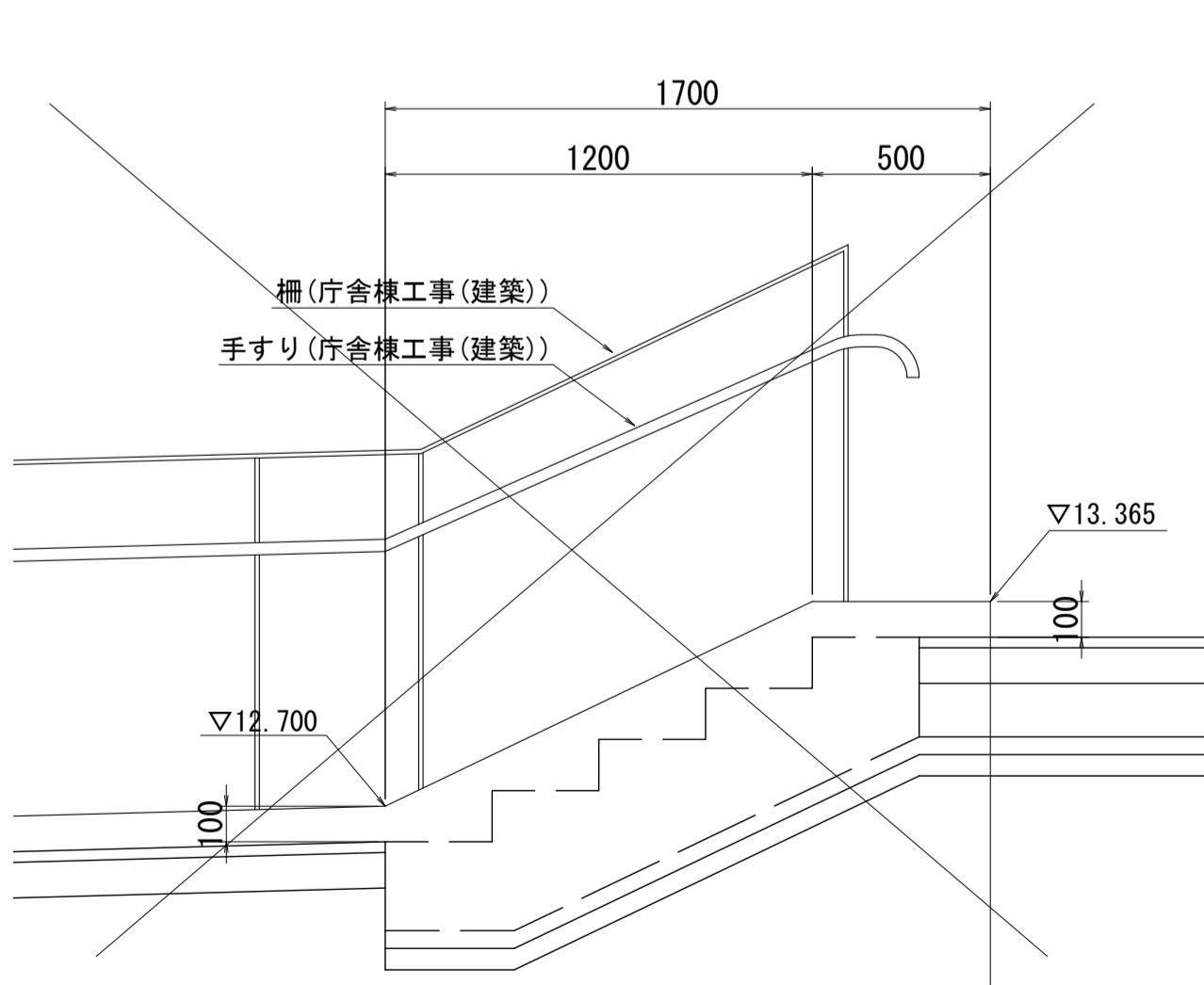
B-B断面図 S=1 : 20



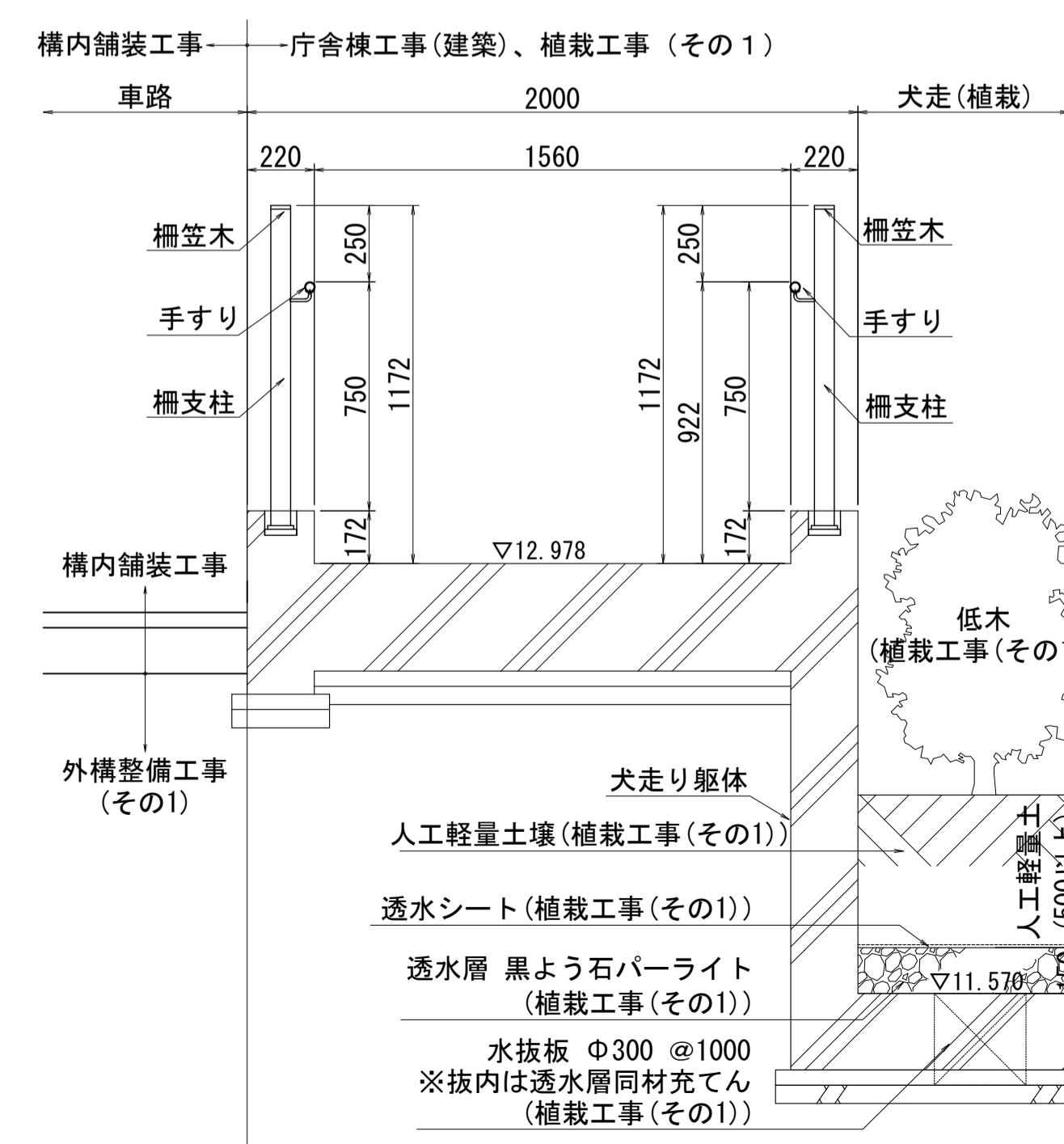
C-C断面図 S=1 : 20



D-D断面図 S=1 : 20

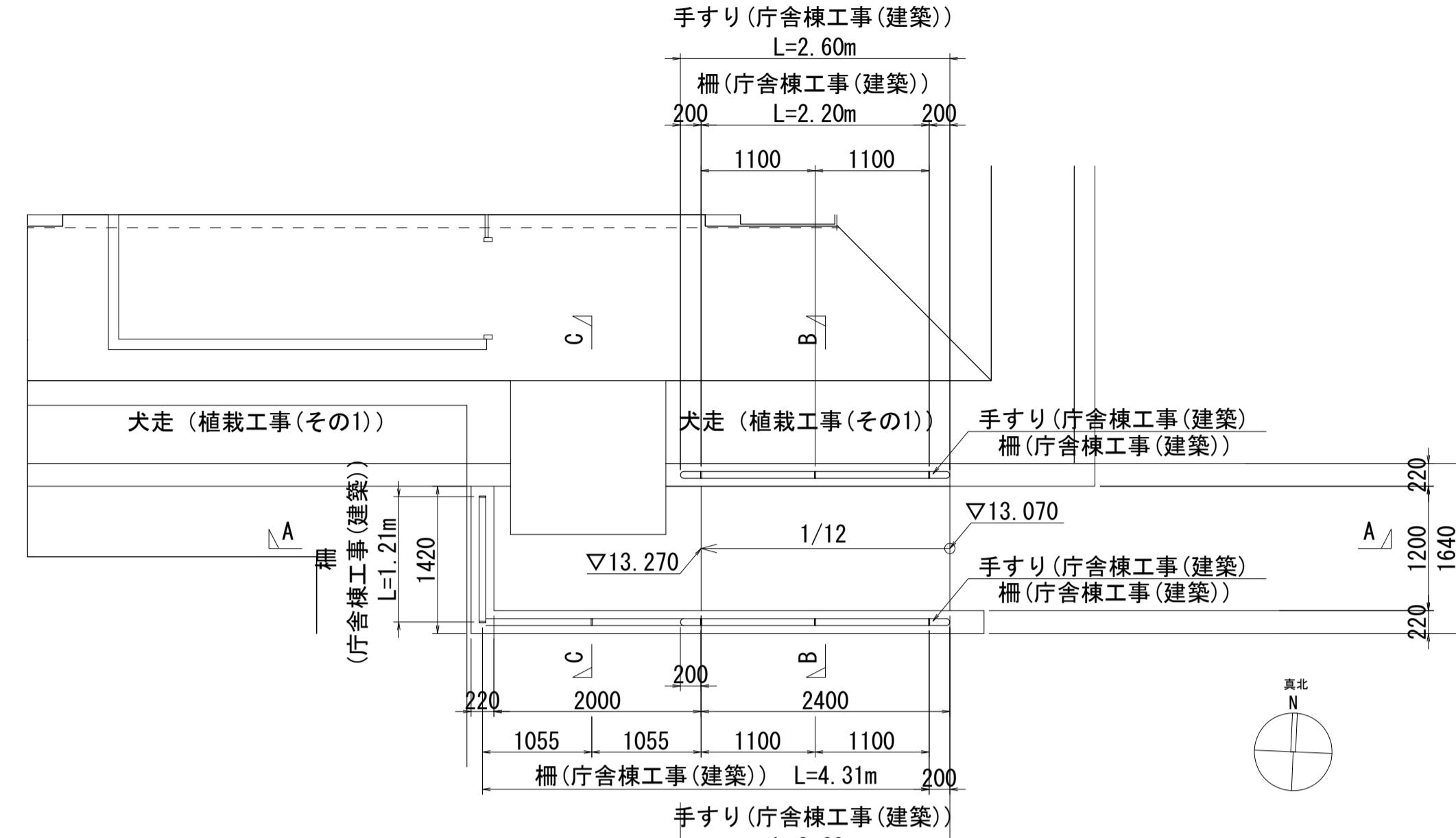


E-E断面図 S=1 : 20

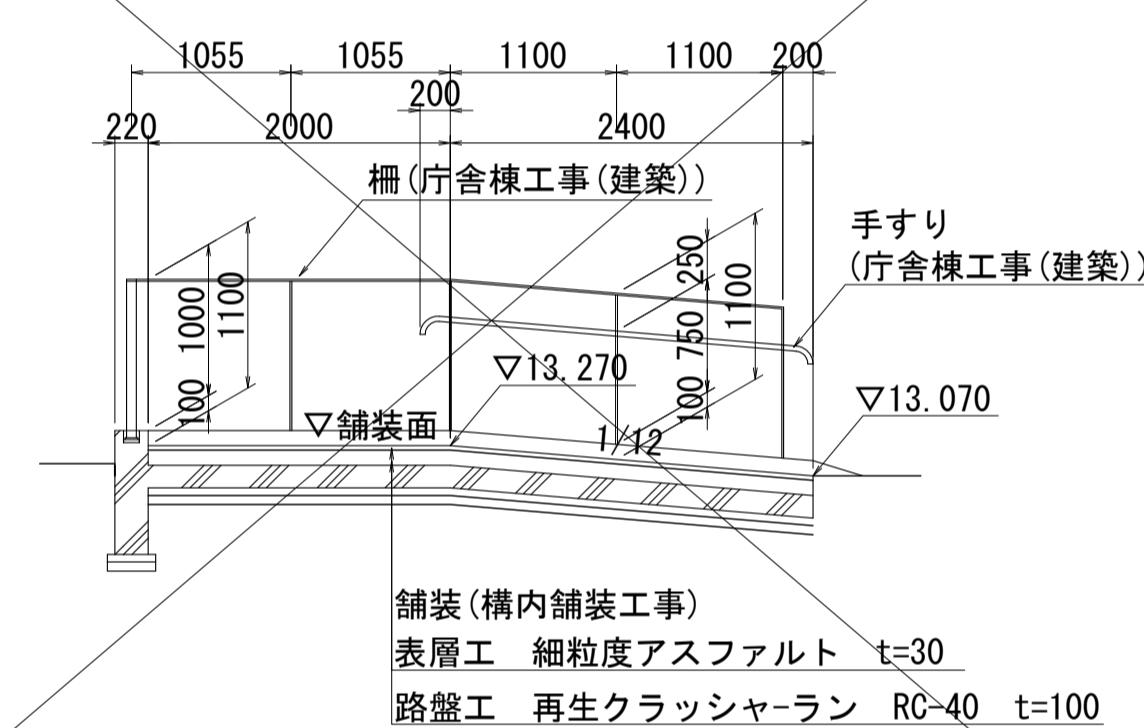


スロープ4詳細図

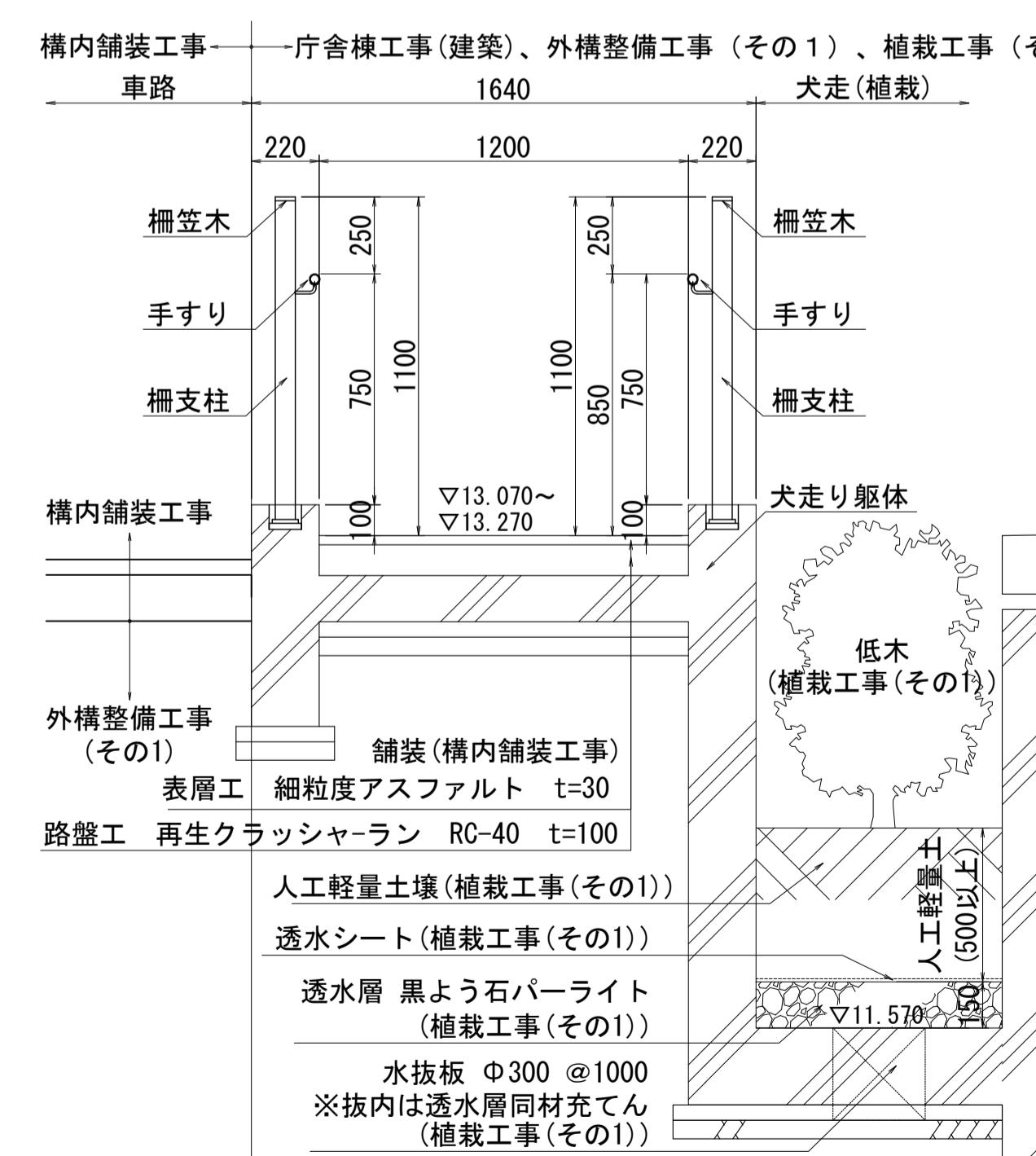
平面図 S=1 : 50



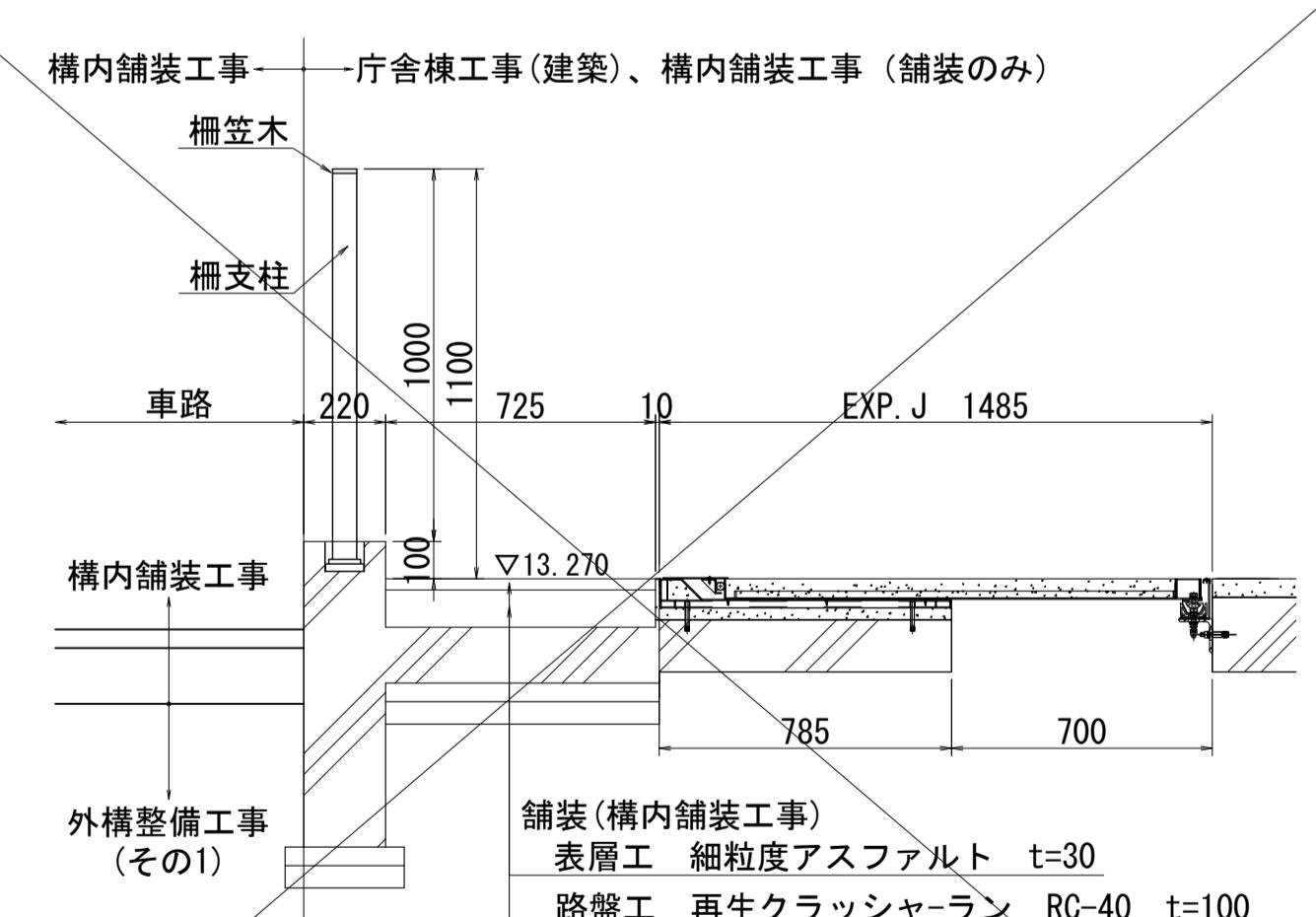
A-A断面図 S=1 : 50



B-B断面図 S=1 : 20



C-C断面図 S=1 : 20



川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)		
gL(1)	A1=図示	
07	外構詳細図(スロープ4) A3=図示/2	
	安井建築設計事務所	